

武蔵野美術大学

Musashino Art University

2027年度 学生募集要項

総合型選抜〔前期〕

入学試験に関する問い合わせ

武蔵野美術大学入学センター

187-8505 東京都小平市小川町1-736 1号館3階

電話 042-342-6995 メール nyushi@musabi.ac.jp

受付時間 9:00～16:30(日曜・祝日を除く)

試験日当日を含め受験生へのお知らせは大学webサイトに掲載します

<https://www.musabi.ac.jp/>

目次

- P01 アドミッションポリシー
生成AIに関する取扱い
- P02 2027年度入学試験の変更点
出願資格
- P04 出願書類
- P05 出願にあたっての注意
- P06 作品・ポートフォリオ提出
- P07 受験時の配慮
過去の入試データ
- P08 総合型選抜[前期]の流れ
- P10 試験日程および提出物
選考方法
- P11 事前相談(メール・オンライン面談)*希望者のみ
第2次選考の試験場
第2次選考時の注意
- P12 不正行為
入学手続
在留資格「留学」の取得について
- P13 学費
通信機器(ノートパソコン等)の準備について
奨学金制度について
入学前課題について
- P14 日本画学科(一般方式)
- P16 油絵学科(油絵専攻)(一般方式)
- P18 油絵学科(グラフィックアーツ専攻)(一般方式)
- P20 彫刻学科(一般方式)
- P22 工芸工業デザイン学科(一般方式)
- P24 工芸工業デザイン学科(ワークショップ方式)
- P26 空間演出デザイン学科(一般方式)
- P28 建築学科(一般方式)
- P30 基礎デザイン学科(一般方式)
- P32 芸術文化学科(一般方式)
- P34 デザイン情報学科(一般方式)
- P36 クリエイティブイノベーション学科(構想力重視方式)
- P38 クリエイティブイノベーション学科(探究力重視方式)
- P40 映像学科(クリエイション資質重視方式)
- P42 Q & A
- P44 本学へのアクセス

アドミッションポリシー

造形学部

武蔵野美術大学は創立以来の教育理念に基づき造形芸術の専門教育を実践し、多くの優れた人材を輩出してきました。本学教育課程を主体的に修め努力できる次のような資質・能力を備えた学生を求めています。

1. 専門性と表現を深めるための基礎的な学力を身につけている人
2. 専門性を支える幅の広い造形力や教養を総合的に身につけている人
3. 論理的思考・創造的思考を働かせて独自の表現で伝えようとする人
4. 文化の創造発展に寄与し、社会で活躍しようとする人

造形構想学部

造形構想学部では、総合的な人間形成としての造形教育と社会に対する広範な知識の教授を通じて、美術・デザイン領域のみならず、広く社会問題の解決や新たな人類価値の創出を行いうる柔軟な発想や構想力を有する人材、すなわち創造的思考をもって社会的イノベーションに寄与する人材を養成する、という教育研究上の目的に鑑み、次のような学生を求めます。

1. 自らの目指す専門性を着実かつ大胆に深化、開拓しようとする人
2. 専門性を支える幅の広い創造的思考力や教養を身に付けようとする人
3. 文化・技術の創造発展・革新に寄与し、社会の様々な領域で活躍しようとする人

*別途、総合型選抜[後期]の募集要項も公開しています。

生成AIに関する取扱い

武蔵野美術大学ではクリエイティブの可能性を探るうえで、学生が生成AIを活用することに一定の意義を見いだしています。ただし、それはみなさんが「学びとは何か」を自ら考えるための一つの手段として生成AIを用いることを推奨するものであり、ものづくりや思考をAIに代行させることを認めるものではありません。また、生成AIの利用には、個人情報の漏えいや著作権侵害のリスクが伴います。さらに、AIが出力する内容には誤った情報や偏った表現が含まれることもあります。そのため、常に内容を確認し、自分の判断で活用する姿勢が大切です。こうした点をふまえ、入学者選抜では生成系AIツールにより生成された作品、文章等をそのまま複製・転載・貼付したものは受験生本人の成果物とはみなしません(生成AIが作成した文章や回答の語尾や言い回しの一部を変えたり、構成の順序を入れ替える程度の改変も「そのままの利用」に含まれます)。自らの責任において十分に考え、制作したものを提出してください。

2027年度入学試験の変更点

○油絵学科グラフィックアーツ専攻

提出作品の規程を変更します。

変更前: 50号程度を目安として、原則当日持参できることとします。

変更後: 受験生本人が移動可能なサイズ・重量の範囲内として、原則当日持参できることとします。

○空間演出デザイン学科

提出作品の規程を変更します。

変更前: サイズは「一人で持てる大きさ」とします。

変更後: 900mm × 600mm × 1800mm 以内のスペースに展示できること。

出願資格

「一般方式、ワークショップ方式、構想力重視方式、クリエイション資質重視方式」

日本画学科、油絵学科油絵専攻、油絵学科グラフィックアーツ専攻、彫刻学科、工芸工業デザイン学科、空間演出デザイン学科、建築学科、基礎デザイン学科、芸術文化学科、デザイン情報学科、クリエイティブイノベーション学科、映像学科

日本国籍(永住資格を持つ者を含む)の者: 次の(1)、(2)の要件をすべて満たしている者。

外国籍(永住資格を持つ者をのぞく)の者: 次の(1)～(3)の要件をすべて満たしている者。

(1) 出願学科で学ぶことを強く希望し専願する者で、合格した場合は必ず入学することを確約できる者。

(2) 次のいずれかに該当する者または2027年3月31日までにこれに該当する見込の者。

① 日本国内の高等学校または中等教育学校を卒業した者。

② 特別支援学校の高等部または高等専門学校の3年次を修了した者。

③ 外国において学校教育制度に基づく12年の課程を修了した者、またはこれに準じる者で文部科学大臣の指定した者。

※外国においてその国の正規の教育制度により、初等／中等教育を受けた期間が12年に満たない者のうち、文部科学大臣の指定した準備教育課程を修了した者または修了する見込の者は出願できます。

なお、文部科学大臣が指定したウクライナ、ウズベキスタン、スーダン、ベラルーシ、ペルー、ミャンマー、ロシア、カザフスタンの課程を修了した者は、準備教育課程の修了は必要ありません。

※外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、欧州バカロレア資格、GCEAレベル資格・国際Aレベル資格(Aレベル試験1科目以上合格、評価E以上)のいずれかを保有する者は出願できます。

※国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS)の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者または修了する見込の者は出願できます。

※外国の大学入学資格検定に合格している者は出願できます。

④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。

⑤ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り)で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。

⑥ 文部科学大臣の指定した者。

⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む)。

⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年4月1日までに18歳に達する者。^{※1}

(3) 日本留学試験の「日本語(読解および聴解、聴読解)」で280点以上得点を得ている者、または日本語能力試験でN1レベルに合格している者。^{※2}

※1 出願資格(2)の⑧で出願しようとする者については入学資格の事前審査を要します。

審査申請の詳細については、本学webサイト

「個別入学資格審査」ページ[<https://www.musabi.ac.jp/admission/other/exceptional/#anchor1>]を参照、または入学センターまでお問い合わせください。

入学資格審査申請期限 8月28日(金) 必着

※2 日本留学試験は出願時から遡り過去4回分(2024年11月、2025年6月、2025年11月、2026年6月)を有効とします。日本語能力試験は2011年以降実施分を有効とします。

なお、日本画学科、建築学科については上記に加えて、以下の要件を満たすことが必要です。

日本画学科 2027年4月1日現在で満26歳以下の者。

建築学科 2027年4月1日現在で満28歳以下の者。

○出願資格について不明な点がある場合は、出願期間開始の30日前までにお問合せください。

出願資格を有していることが確認できない場合は出願を受け付けないことがあります。

「探究力重視方式」

クリエイティブイノベーション学科

日本国籍(永住資格を持つ者を含む)の者:次の(1)～(3)の要件をすべて満たしている者。

外国籍(永住資格を持つ者をのぞく)の者:次の(1)～(4)の要件をすべて満たしている者。

(1)出願学科で学ぶことを強く希望し専願する者で、合格した場合は必ず入学することを確約できる者。

(2)次のいずれかに該当する者または2027年3月31日までにこれに該当する見込の者。

①日本国内の高等学校または中等教育学校を卒業した者。

②特別支援学校の高等部または高等専門学校の3年次を修了した者。

③外国において学校教育制度に基づく12年の課程を修了した者、またはこれに準じる者で文部科学大臣の指定した者。

※外国においてその国の正規の教育制度により、初等／中等教育を受けた期間が12年に満たない者のうち、文部科学大臣の指定した準備教育課程を修了した者または修了する見込の者は出願できます。

なお、文部科学大臣が指定したウクライナ、ウズベキスタン、スーダン、ベラルーシ、ペルー、ミャンマー、ロシア、カザフスタンの課程を修了した者は、準備教育課程の修了は必要ありません。

※外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、欧州バカロレア資格、GCEAレベル資格・国際Aレベル資格(Aレベル試験1科目以上合格、評価E以上)のいずれかを保有する者は出願できます。

※国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS)の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者または修了する見込の者は出願できます。

※外国の大学入学資格検定に合格している者は出願できます。

④文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。

⑤専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。

⑥文部科学大臣の指定した者。

⑦高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む)。

⑧本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年4月1日までに18歳に達する者。^{※1}

(3)以下のいずれかに該当する者。

①高等学校もしくは中等教育学校の教育課程内の授業等において探究活動(課題研究)に取り組んでいる者、もしくは取り組んだ者。

②教育課程外で探究活動に取り組んでいる者、もしくは取り組んだ者。課題研究、部活動、委員会活動、課外活動、自主活動など、活動の形式は問わない。

(4)日本留学試験の「日本語(読解および聴解、聴読解)」で280点以上得点を得ている者、または日本語能力試験でN1レベルに合格している者。^{※2}

※1 出願資格(2)の⑧で出願しようとする者については入学資格の事前審査を要します。

審査申請の詳細については、本学webサイト

「個別入学資格審査」ページ[<https://www.musabi.ac.jp/admission/other/exceptional/#anchor1>]を参照、または入学センターまでお問い合わせください。

入学資格審査申請期限 8月28日(金)必着

※2 日本留学試験は出願時から遡り過去4回分(2024年11月、2025年6月、2025年11月、2026年6月)を有効とします。日本語能力試験は2011年以降実施分を有効とします。

○出願資格について不明な点がある場合は、出願期間開始の30日前までにお問合せください。

出願資格を有していることが確認できない場合は出願を受け付けられないことがあります。

出願書類

*原本と記載されているものは、必ず原本を提出してください。

*出願書類は返却いたしません。

①志願確認書(全員)

web出願システムで出願登録が完了すると、出力できます。

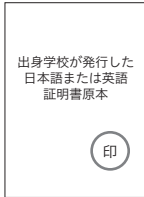
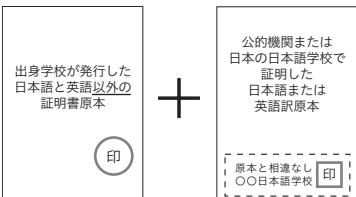
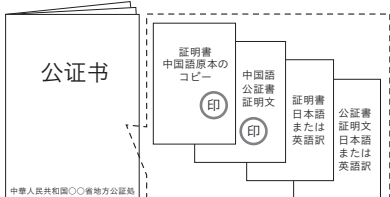
*出願登録完了後に入力内容に間違いが見つかった場合は、赤いペンで修正し、修正箇所が目立つようにしてください。

②調査書またはその他の証明書(全員)

*調査書は出願3か月以内に発行された、出身学校長作成の未開封のものを1通提出してください。

*ただし、次に該当する者は、それぞれ所定の証明書を提出してください。

1. 外国において学校教育制度に基づく12年の課程を修了または修了見込の者:修了(見込)証明書および成績証明書の原本(発行日は問いません)
2. 専修学校の高等課程修了(見込)者:修了(見込)証明書および成績証明書の原本(出願3か月以内発行のもの)
3. 高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者、大学入学資格検定試験合格者:合格(見込)成績証明書の原本(出願3か月以内発行のもの)
4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者:「武蔵野美術大学入学資格認定書」のコピー
5. 調査書の提出が困難な者(出身学校の廃校や発行可能期間終了により、調査書が提出できない場合):卒業証書(Diploma/毕业证书)を出願期間前に入学センター(1号館3階)まで持参して直接確認を受けてください。

原本が日本語または英語の場合	原本が日本語または英語以外の言語の場合	
原本を提出	・大使館などの公的機関または日本語学校(現在日本国内の日本語学校に在籍中の場合のみ可能)で証明を行う場合	・中華人民共和国公証役場で証明を行う場合
	原本と大使館などの公的機関または日本語学校で証明した日本語または英語訳の原本の両方を提出	公証役場が作成した「公证书」原本を提出
 出身学校が発行した日本語または英語証明書原本 原本	 出身学校が発行した日本語と英語以外の証明書原本 公的機関または日本の日本語学校で証明した日本語または英語訳原本 原本と相違なし 〇〇日本語学校 原本	 公证书 証明書 中国語原本のコピー 中国語公証書 証明文 証明書 日本語または英語訳 公証書 証明文 日本語または英語訳 原本

*中国の現地正規課程による高等学校を卒業した方は、卒業証明書の原本に代わって以下の認証書でも構いません。

・CSSD(Center for Student Services and Development, Ministry of Education, P.R. China)が発行する英語による「Verification Report of China Secondary Education Qualification Certificate」を申請し、印刷したもの

※Verification Reportの申請については CHSIのウェブサイトを確認してください。

※発行に時間がかかる場合もあるようです。十分に余裕を持って申請してください。

③誓約書(全員)

*本学所定の用紙を巻末から印刷の上、記載事項を確認し、署名・捺印してください。

*ペンで記入してください。

④自己推薦調書、学修計画書(該当者のみ)

*本学所定の用紙を巻末から印刷してください。

工芸工業デザイン学科ワークショップ方式、クリエイティブイノベーション学科構想力重視方式の自己推薦調書の提出はありません。クリエイティブイノベーション学科は全ての方式で学修計画書の提出が必要です。

⑤提出作品自己作成証明書(該当者のみ)

*日本画学科、油絵学科(油絵専攻/グラフィックアート専攻)、彫刻学科、工芸工業デザイン学科(一般方式)、空間演出デザイン学科、デザイン情報学科、映像学科(クリエイション資質重視方式)の受験生は提出が必須です。

*本学所定の用紙を巻末から印刷の上、必ず各学科の記入例を参照し、署名・捺印してください。

⑥在留資格を証明する書類(外国籍の方(永住資格を持つ方を含む)のみ)

＊以下のうちどちらか1枚を提出してください。

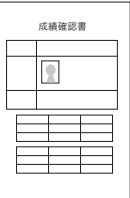
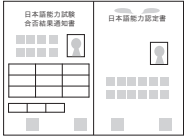
日本に在留している場合	日本に在留していない場合
・在留カードの両面のコピー ＊裏面に記載がなくても、必ず両面のコピーを取ってください ＊更新予定の場合は、コピーの余白にそのことを記載してください(例:00年00月更新予定) ＊A4サイズ用紙にコピーしてください	・パスポートの身分事項(氏名、顔写真、生年月日、国籍、パスポートの有効期限等)が記載されているページのコピー ＊A4サイズ用紙にコピーしてください

⑦外国人留学生入学志願者調書(外国籍の方(永住資格を持つ者をのぞく)のみ)

＊本学所定の用紙を巻末から印刷し、記入してください。

⑧日本語能力レベルを証明する書類(外国籍の方(永住資格を持つ方をのぞく)のみ)

＊日本留学試験(EJU)と日本語能力試験(JLPT)どちらかを選び、以下(1)～(6)のうち、いずれか1枚を提出してください。
＊(3)成績確認書は、EJU オンラインの「成績確認専用ページ」から印刷の上、提出してください。
＊2026年7月に日本語能力試験(JLPT)を受験し、出願期間内に合格を証明する書類が未着の場合は、合格したことがわかるweb画面のスクリーンショットを出願書類に同封して提出してください。後日、証明書が届きましたら追加で提出してください。

日本留学試験(EJU)で出願する場合			日本語能力試験(JLPT)で出願する場合		
以下4回を対象とします 2024年11月、2025年6月、2025年11月、2026年6月			以下の期間に実施された試験を対象とします 2011年7月～2026年7月実施分		
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
 COPY	 COPY	 EJUオンラインから印刷	 COPY	 COPY	 COPY

⑨新旧氏名がわかる英語または日本語で記載された公的書類(出願時の氏名と証明書等の氏名が異なる者のみ)

☒ 出 願 に あ た っ て の 注 意

- 出願書類に不備があった場合は、出願が無効となる場合があります。
- 検定料支払い後の志望学科・専攻の変更は認めません。
- 一旦、受理した出願書類および検定料は、本人の責任によらない場合も含め事由のいかんを問わず返還しません。
- 出願書類に虚偽の記載があった場合、合格を取り消すことがあります。
- 出願書類の到着や不備の有無の確認等、個別の問い合わせには対応できません。
- 出願期間開始以降は授業公開への申込みはできません。

作品・ポートフォリオ提出

○第1次選考時の提出について

- ①ポートフォリオ、作品資料(日本画学科、油絵学科(油絵専攻・グラフィックアーツ専攻)、彫刻学科、工芸工業デザイン学科(一般方式)、デザイン情報学科)
 - ②自己推薦調書(1)作品(空間演出デザイン学科)(P27参照)
 - ①②については、出願書類に同封してください。折り曲げられない等の理由で同封できない場合、出願期間内9月10日(木)～9月17日(木)に大学への配達が可能で証明できる方法(小包、簡易書留等)で郵送してください。(日本国内から郵送の場合:最終日消印有効、日本国外から郵送の場合:最終日必着)
- 〈郵送先〉
〒187-8505 東京都小平市小川町1-736
武蔵野美術大学 入学センター 総合型選抜受付係
- ③ポートフォリオ(作品資料ファイル)(映像学科)
 - P41を参照しデータをweb上にアップロードして提出してください。
 - ④プレゼンテーション企画書(基礎デザイン学科)
 - 2つ折りにし、出願書類に同封してください。

○「提出作品自己作成証明書」(本学所定の用紙)

出願書類に同封し、出願期間内に郵送してください。志願者本人は提出する作品等が自ら制作したものであることを誓約してください。また、指導教員等より提出作品等が志願者本人の作品であることの証明を取得してください。親族・友人による証明は不可とします。

○作品用氏名ラベル

- *すべての提出作品には1点につき1枚の作品用氏名ラベルを外から見える位置に貼り付けてください。
- *記載内容は出願時に提出する提出作品自己作成証明書と一致させてください。
- *空間演出デザイン学科の自己推薦調書(1)作品および映像学科のポートフォリオ・映像作品については貼付不要です。



ポートフォリオ等冊子類の場合

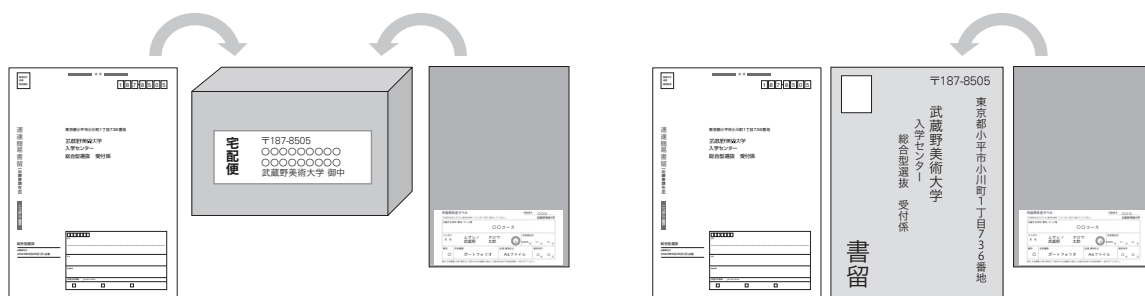
外から見える位置に
作品用氏名ラベルを貼り付けてください

作品(絵画作品、立体作品など)の場合

裏面の下部など、分かりやすい場所に
作品用氏名ラベルを貼り付けてください

○郵送提出

- *郵送提出と指示があるものは、武蔵野美術大学入学センターに作品提出期間内に送付してください。
- *日本国内から郵送の場合は提出期限最終日消印有効、日本国外から郵送の場合は提出期限最終日必着となります。
- *出願時に送付と指示があるものは、できるかぎり出願書類と同封・同梱してください。
- *出願書類と別に送付しても構いませんが、その際は必ず書留や宅配便、EMSやDHLなど追跡可能な方法で送付してください。
- *ポートフォリオは郵送・保管・審査・返送時に破損しないように作成してください。



出願書類とポートフォリオを同梱する場合

※同梱する場合も、出願書類は必ず宛名ラベルを貼り付けた角2サイズの封筒に入れてください。

出願書類とポートフォリオを別で送る場合

○ポートフォリオの返却

- 合格発表(第1次選考不合格者については第1次選考結果発表後)の翌月を目途に、ポートフォリオを郵送返却します。
- ※海外在住で返却希望の方は、受取可能な日本国内住所を出願登録時にご記載ください。
- ※大学より発送後に配達できず返送された場合、または海外住所の場合は、翌年4月まで保管し、その後破棄します。返却希望の方は、期限内に入学センターへお越しください。

☒ 受験時の配慮

身体上の理由により、受験の際に配慮を希望する場合は、本学 web サイト「入学試験受験上の配慮をご希望の方へ」
[https://www.musabi.ac.jp/admission/other/exam_support/]の内容をご確認の上、以下の期日までに申請(相談)に必要な書類を入学センター(e-mail:nyushi@musabi.ac.jp)までお送りください。また、出願後に不慮の事故等(交通事故、負傷、発病等)により配慮が必要となった場合は、速やかに入学センターにご連絡ください。

2026年8月10日(月)16:30必着

*入学試験に合格し、入学する場合は改めて「支援要望書」をご提出いただき、新入生・所属研究室・保健室等との面談により支援内容を決定します。要望内容によっては、入学試験時には対応可能であっても入学後の継続的な対応ができかねる場合がありますことを、あらかじめご承知おきください。

☒ 過去の入試データ

過去の総合型選抜試験問題は、本学 web サイトでも一部公開しています。
<https://www.musabi.ac.jp/admission/other/past-exam/>

過去の総合型選抜結果は、本学 web サイトにて公開しています。
<https://www.musabi.ac.jp/admission/other/data/>

総合型選抜「前期」の流れ

事前相談(メール・オンライン面談) (P11で詳細を確認してください) 出願(①～⑤)

① web出願のガイダンスページへアクセス

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-musabi/>

出願手続きの流れなどをよく読んで出願方法を確認してください。



② ガイダンスページからマイページへアクセス

受験者情報・顔写真を登録してください。



③ 入試種別の選択・出願情報の入力

画面の表示に従って必要な情報を入力してください。

[出願初日は9:00～、出願最終日は15:00まで]



※マイページは1人一つのみ作成してください。作成後に別のメールアドレスで新たにマイページを作成することはしないでください。

※出願最終日の15:00までに、web出願登録が完了していることが必要です。15:00時点で登録途中である場合は出願とは認められませんのでご注意ください。また、PC、ネットワーク環境の不調により期限内に登録完了できなかった場合も救済措置は行いませんので、時間に余裕を持って操作を行うようにしてください。

④ 検定料の支払い

登録完了画面から支払い専用サイトへ移動し、下記より支払い方法を選択してください。

支払い可能な取扱い機関

クレジットカード

- VISA
- MasterCard
- JCB
- AMERICAN EXPRESS
- Diners Club

クレジットカードでの支払いはカード情報の入力完了と同時に決済となります。

コンビニエンスストア

- デイリーヤマザキ
- ヤマザキデイリーストア
- ローソン/ミニストップ
- ファミリーマート
- セイコーマート

「お支払情報取得」ボタンをクリックすると、支払い時に必要となる番号が表示されます。支払い機関によって手順が異なるため、ご確認の上、検定料をお支払いください。

ATM(Pay-easy利用可能なATM)

- ゆうちょ銀行
- 三菱UFJ銀行
- 三井住友銀行
- みずほ銀行
- りそな銀行など

ネットバンキング

主要メガバンクをはじめ、全国1,000行以上対応。ご利用には、ネットバンキングの利用契約が必要です。



検定料 **35,000円**

※web出願システムより出願期間内にお支払いください。

※検定料の他に、サービス利用料990円が別途必要です。

※第1次選考で不合格となった場合は、20,000円を返還します。返還の手続方法等については、第1次選考合格発表の際に該当者に通知します。

(9月17日(木)18:00までにお支払いください。)

*コンビニ、クレジットカードなど検定料の支払いは支払い方法ページを参照してください。

※まだ出願は完了していません。次のページへ進んでください。

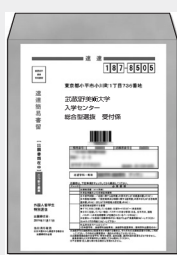
2026年
9月10日(木)
9:00～
9月17日(木)
15:00

⑤ 登録完了画面または申込確認画面で志願確認書を A4 サイズでプリントアウトし、他の出願書類 (P04～05参照) とともに大学へ郵送 (速達・簡易書留)

*宛名ラベルは④検定料の支払いが完了後に印刷可能となります。

※作品の郵送提出についてはP06を確認してください。

日本国内から郵送



宛名ラベルを貼付した角2サイズの封筒で郵送 (速達・簡易書留)

9月17日(木)消印有効

日本国外から郵送



宛先
Musashino Art University
Admission Section
1-736 Ogawa-cho,
Kodaira-shi, Tokyo
187-8505 Japan

発送状況を確認できる方法で郵送
(宛名ラベルも同封してください)

9月17日(木)武蔵野美術大学必着

2026年
9月10日(木)
9:00~
9月17日(木)
15:00

出願完了

※出願完了の連絡は行いません。不備があった場合は、出願時に登録いただいた電話番号やメールアドレスに連絡します。

※出願書類の到着や不備の有無の確認等、個別の問い合わせには対応できません。

受験票のプリントアウト(受験番号の公開)

受験票は郵送されません。マイページへアクセスしA4サイズの通常コピー用紙に受験票をプリントアウトし、試験日当日に必ず持参してください。

※拡大または縮小して印刷したもの、印刷不鮮明なもの、汚損・汚れの大きいもの、裏面印刷のあるものは無効です。

10月2日(金)
11:00以降

第1次選考 合格発表

web出願システムのマイページ[<https://exam-entry.52school.com/musabi/mypage>]にて発表します。

10月13日(火)
11:00

面接時間、試験会場の掲載

集合時間等は本学webサイト[https://www.musabi.ac.jp/exam_info/]に後日掲載します。必ず試験前に確認し、プリントアウトするかブックマークするなどし、試験日当日に確認できるようにしておいてください。

10月21日(水)
までに掲載(予定)

第2次選考 入学試験

プリントアウトした受験票を持参してください。試験会場は上記URLから確認してください。開門時間は8:00(予定)です。それより前に学内に入ることはいけません。

10月31日(土)~
11月1日(日)

第2次選考 合格発表

web出願システムのマイページ[<https://exam-entry.52school.com/musabi/mypage>]にて発表します。「合否結果」ボタンから確認してください。

合格者はマイページトップに戻り、「入学手続き」ボタンから案内に従って入学手続きを行ってください。合格通知書等もそこからダウンロードできます。郵送による通知は行いません。

なお、合否に関して、電話等による問い合わせには回答しません。

11月10日(火)
11:00

入学手続き締切

合格者は所定の入学手続き期間に「オンライン入学手続」での情報登録、学費の納入(銀行振込)、入学手続書類の郵送まで完了してください。いったん納入された入学金、授業料、その他の学費は返還されません。理由を問わず入学手続き期限後の手続は認めません。

12月1日(火)

入学

2027年
4月

個人情報の保護について

出願にあたってお知らせいただいた住所、氏名、その他の個人情報は、学校法人武蔵野美術大学個人情報保護基本方針に則り、入学試験業務、および個人を特定しない形での各種統計資料作成にのみ利用します。これらについては個人情報保護法規定に則して契約を締結した委託業者において行います。出願された方の個人情報は武蔵野美術大学が明示する用途に限り使用し、委託業者がその委託業務を超えて他の目的に使用することはありません。

試験日程および提出物

出願期間			第1次選考	第2次選考			
9月10日(木)～9月17日(木) ＊web出願登録は9月17日(木) [15:00]まで ＊検定料の支払いは9月17日(木) [18:00]まで			第1次選考 合格発表 10月13日(火) 11:00	10月31日 (土)	11月1日(日)		
学科・専攻	方式	募集人員	出願時に提出する選考資料	第1次選考内容	第2次選考内容※4	合格発表	詳細ページ
日本画学科	一般方式	6	ポートフォリオ(作品資料ファイル)※1 自己推薦調書(本学所定の用紙)※2	○ポートフォリオ(作品資料ファイル)および自己推薦調書による審査	○鉛筆デッサン ○作品審査および面接	11月10日 (火) 11:00	P14
油絵学科 油絵専攻		18	ポートフォリオ(作品資料ファイル)※1 自己推薦調書(本学所定の用紙)※2	○ポートフォリオ(作品資料ファイル)および自己推薦調書による審査	○作品審査および面接		P16
油絵学科 グラフィック アーツ専攻		3	ポートフォリオ(作品資料ファイル)※1 自己推薦調書(本学所定の用紙)※2	○ポートフォリオ(作品資料ファイル)および自己推薦調書による審査	○ポートフォリオ(作品資料ファイル)および自己推薦調書による審査 ○作品審査および面接		P18
彫刻学科		5	ポートフォリオ(作品資料ファイル)※1 自己推薦調書(本学所定の用紙)※2	○ポートフォリオ(作品資料ファイル)および自己推薦調書による審査	○ポートフォリオ(作品資料ファイル)および自己推薦調書による審査 ○作品審査および面接		P20
工芸工業 デザイン学科	一般方式	25	ポートフォリオ(作品資料ファイル)※1 自己推薦調書(本学所定の用紙)※2	○ポートフォリオ(作品資料ファイル)および自己推薦調書による審査	○作品審査および面接		P22
	ワーク ショップ 方式	10	－	○オンライン面接による審査	○思考 プロセス テスト		P24
空間演出 デザイン学科	一般方式	35	自己推薦調書 (1)作品 (2)論文(本学所定の用紙)※2	○自己推薦調書審査	○構想力テスト ○作品審査 ○面接		P26
建築学科		10	自己推薦調書(本学所定の用紙)※2	○自己推薦調書審査	○表現力テスト ○グループ面接		P28
基礎デザイン 学科		8	自己推薦調書(本学所定の用紙)※2 プレゼンテーション企画書※3	○プレゼンテーション企画書 および自己推薦調書による 審査	○プレゼンテーション ○面接		P30
芸術文化 学科		14	自己推薦調書(本学所定の用紙)※2	○自己推薦調書審査	○小論文<10月31日(土)> ○面接<いずれか1日>		P32
デザイン 情報学科		10	ポートフォリオ(作品資料ファイル)※1 自己推薦調書(本学所定の用紙)※2	○ポートフォリオ(作品資料ファイル)および自己推薦調書による審査	○表現力 テスト	○面接	P34
クリエイティブ イノベーション 学科	構想力 重視方式	16	学修計画書(本学所定の用紙)※2	○学修計画書による審査	○構想力 テスト	○面接	P36
	探究力 重視方式	16	学修計画書(本学所定の用紙)※2 自己推薦調書(本学所定の用紙)※2	○学修計画書および自己推薦調書による審査	○面接<いずれか1日>		P38
映像学科	クリエイ ション資質 重視方式	10	ポートフォリオ(作品資料ファイル)※1 自己推薦調書(本学所定の用紙)※2	○ポートフォリオ(作品資料ファイル)および自己推薦調書による審査	○面接		P40

- ※1 サイズ等の詳細については各学科のページを参照してください。提出方法についてはP06「作品・ポートフォリオ提出」を参照してください。
- ※2 用紙は巻末より印刷し、BもしくはHBの鉛筆または黒のボールペンで記入してください。ワープロ等の使用は認めません。
- ※3 A3サイズの用紙2枚(用紙の種類は自由)。詳細については基礎デザイン学科のページを参照してください。郵送の際は2つ折りしてください。
- ※4 選考の日時については第1次選考合格発表後、大学webサイトに後日掲載します。
- ※5 面接試験は全て日本語で行われます。
- ※6 提出作品自己作成証明書に記載されていない作品を面接時に持ち込むことはできません。
- ※7 面接時に発表用のPC、タブレットを持ち込むことはできません。

選考方法

上記表の第1次選考内容と第2次選考内容を総合して選考します。

☐ 事前相談（メール・オンライン面談）＊希望者のみ

○メール（彫刻学科、工芸工業デザイン学科、空間演出デザイン学科、建築学科、基礎デザイン学科、芸術文化学科、デザイン情報学科、クリエイティブイノベーション学科、映像学科）

彫刻学科、工芸工業デザイン学科、空間演出デザイン学科、建築学科、基礎デザイン学科、芸術文化学科、デザイン情報学科、クリエイティブイノベーション学科、映像学科では希望者に対して、出願前にメールによる事前相談を受け付けます。

相談の際はタイトルを「総合型選抜[前期]事前相談申込」とした上で、氏名、住所、電話番号、出身もしくは在籍学校名、相談内容を記入し、8月31日(月)までに下記アドレスまでメールしてください。

・事前相談メールアドレス

彫刻学科 scp@musabi.ac.jp	工芸工業デザイン学科 koude@musabi.ac.jp
空間演出デザイン学科 kuude@musabi.ac.jp	建築学科 arc@musabi.ac.jp
基礎デザイン学科 kisode@musabi.ac.jp	芸術文化学科 geibun@musabi.ac.jp
デザイン情報学科 d-info@musabi.ac.jp	クリエイティブイノベーション学科 ci_info@musabi.ac.jp
映像学科 eizou@musabi.ac.jp	

○オンライン面談（彫刻学科、工芸工業デザイン学科、建築学科、芸術文化学科）

彫刻学科、工芸工業デザイン学科、建築学科、芸術文化学科では希望者に対して、オンラインで面談を行う予定です。

面談の申し込みについては下記URLにて確認してください。

<https://www.musabi.ac.jp/prospective/guidance/lab/>

＊事前相談（メール・オンライン面談）は希望者に対して実施するもので、必ず行わなければならないものではありません。また、相談内容等が選考に反映されることはありません。

☐ 第2次選考の試験場

武蔵野美術大学 鷹の台キャンパス

東京都小平市小川町1-736

大学では駐車場を用意しておりません。公共交通機関を利用してください。

自家用車等での送迎は、路上駐停車により近隣にお住まいの方の迷惑となりますので、ご遠慮ください。

☐ 第2次選考時の注意

入構	入構受付時に受験票を確認しますので、あらかじめカバン等から出しておいてください。開門時間以降試験開始の30分前までに入構するようにしてください。 受験生は試験終了まで試験場から退出することはできません。受験生以外は入構できません。控室もございません。
受験票	プリントアウトした受験票を必ず携帯してください。試験当日、受験票を忘れたり、紛失・汚損したときは、入学センターまで申し出てください。受験票の再発行には時間を要することがありますが、そのことによる試験時間の延長等はいりません。
時計	試験場には時計はありません。必要な場合は持参してください。使用する際はアラーム音等を必ず切ってください。また、携帯電話・スマートフォンを時計代わりに使用することは禁止します。スマートウォッチの使用も禁止します。
携帯電話・スマートフォン・その他の電子機器類	試験場内での携帯電話・スマートフォンおよびスマートウォッチ、タブレット、電子辞書、計算・辞書・通信・撮影機能のあるウェアラブル端末、イヤホン、その他電子機器類の使用は一切禁止します。試験場に入室する前に必ず電源を切り、カバンにしまってください。試験時間中、上記電子機器類をカバンにしまわず、身につけていた場合は不正行為とみなすことがあります。
試験中	実技試験の用紙、キャンバスおよびイーゼル等は本学で用意するものを使用します。 実技試験によっては、当日試験場にて席順を抽選で決めるものもあります。 答案用紙の指定された氏名欄以外への本人の氏名、受験番号等の記載を禁じます。 試験時間中に発病その他の事故などが起きたときは、試験監督へ申し出て指示に従ってください。
小論文等の筆記試験	小論文等の筆記試験の際に机上に置けるのは携行用具の他に鉛筆削り、時計、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（中身だけ取り出したもの）、目薬のみです。 座布団、クッション、ひざかけ、レッグウォーマー等は無地のものに限り使用できます。
失格	受験すべき科目を1科目でも受験できなかった場合は失格（不合格）となり、以降の試験科目は受験できません。
服装	英文字、地図がプリントされている衣服は着用しないでください。着用している場合、脱いでもらうことがあります。 また、試験時間中に換気を行うことがあります。最大限の防寒対策を施した上で来校し、試験中に体温調整ができるように準備してください。
感染症	試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、結核、はしか、新型コロナウイルス感染症等）に罹患している場合は、他の受験生や試験監督等への感染の恐れがあるため、受験をお断りします。なお、この場合であっても追試験等の特別措置は行いません。
昼食	試験が午前・午後にわたる場合は、昼食を持参してください。食堂を利用することや、構外に買いに出ることはできません。
解答	試験の解答の所有権、著作権は本学に帰属し、解答用紙等の返却はいたしません。また、本学の入試資料として入学試験問題集や入学試験ガイド、本学webサイト等に掲載、進学説明会等で展示することがあります。

不正行為

以下に例示した行為をした場合、不正行為とみなすことがあります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止、退室を命じ、以降の受験は認めません。また、受験したすべての科目の成績を無効とします。状況によっては、警察に被害届を出す場合があります。なお、入学検定料は返還しません。

- ①出願の際に提出した書類、資料、情報等に偽造、虚偽記載(本人以外の写真を使用する等)、剽窃等があった場合。
- ②カンニング(カンニングペーパー・参考書・スケッチブック・スクラップブック等の素材集を使用する、学力試験・小論文等において他の受験者の答案等を見る、他の者から答えを教わる等)をすること。
- ③他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをしたりすること。
- ④試験開始の指示の前に問題を見る、解答を始める、裏面・余白等に書き込みを行うこと。
- ⑤試験中断、終了の指示に従わず、用具を持っている、解答を続けること。
- ⑥試験時間中に携帯電話、スマートフォン、タブレット、スマートウォッチ、電子辞書、計算・辞書・通信・撮影機能のあるウェアラブル端末、イヤホン、その他電子機器類等をカバンなどにしまわず、手に持ったり、身につけていること。
- ⑦試験時間中に携帯電話、スマートフォン、タブレット、スマートウォッチ、電子辞書、計算・辞書・通信・撮影機能のあるウェアラブル端末、イヤホン、その他電子機器類等を使用すること。
- ⑧他の受験者と用具の貸し借りや私語をすること。
- ⑨試験時間中に試験監督の許可なく自席を離れること。
- ⑩試験に関することについて、自身や他の受験生を利するような虚偽の申出をすること。
- ⑪試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑫試験場において試験監督の指示に従わないこと。
- ⑬その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

入学手続

合格者に対して入学手続書類の郵送はありません。

入学手続については、大学 web ページに掲載する「入学手続要項」を確認のうえ手続してください。

入学手続方法

【出願マイページ】の【入学手続】より、入学手続システムにログインして手続してください。

詳細は「入学手続要項」を参照し、期限までに手続を終えてください。

<https://www.musabi.ac.jp/admission/successful/>

手続期限:2026年12月1日(火)

在留資格「留学」の取得について

外国籍で日本に居住していない(在留資格を持っていない)方および入学までに在留期限が切れる方は、入学手続とあわせて、在留資格の取得または在留期間の更新が必要です。(※2027年4月1日までに在留資格『留学』を取得していただく必要があります)

「留学」の在留資格申請のためには、まず代理人(武蔵野美術大学)が、日本国内の法務省出入国在留管理庁(入国管理局)に「在留資格認定証明書(COE)」の交付申請を行う必要があります。詳細については、合格者向けwebサイトで確認してください。

在留資格認定証明書の代理申請や在留期間更新・在留資格変更の申請に必要な資料の作成は、入学手続の完了確認後です。希望する場合は、入学手続締切日にかかわらず、合格確認後、速やかに入学手続を完了してください。

詳細は国際チーム(留学生担当)(e-mail:ryugaku@musabi.ac.jp)へ問い合わせてください。

なお、在留資格が「留学」である方は修学環境の整備に関する諸費用相当分として留学生修学環境整備費(年間363,000円)を納入いただきます。

※外国人留学生で、2027年2月以降に出入国在留管理庁より「在留資格認定証明書」または、「在留資格『留学』」が不交付となった場合は、自動的に入学取り消しとなります。

学 費

2027年度の学費は以下のとおりです。

()内は在留資格が「留学」の場合

学部	学科・専攻	学期	入学金	授業料	維持費	施設設備費	留学生修学環境整備費	入学金および前期学費	後期学費	初年度年間学費
造形学部	日本画学科	前期	260,000	635,000	20,000	212,500	(181,500)	1,127,500 (1,309,000)	-	1,995,000 (2,358,000)
		後期	-	635,000	20,000	212,500	(181,500)	-	867,500 (1,049,000)	
	油絵学科油絵専攻	前期	260,000	635,000	20,000	212,500	(181,500)	1,127,500 (1,309,000)	-	1,995,000 (2,358,000)
		後期	-	635,000	20,000	212,500	(181,500)	-	867,500 (1,049,000)	
	油絵学科グラフィックアーツ専攻	前期	260,000	635,000	20,000	212,500	(181,500)	1,127,500 (1,309,000)	-	1,995,000 (2,358,000)
		後期	-	635,000	20,000	212,500	(181,500)	-	867,500 (1,049,000)	
	彫刻学科	前期	260,000	635,000	20,000	220,000	(181,500)	1,135,000 (1,316,500)	-	2,010,000 (2,373,000)
		後期	-	635,000	20,000	220,000	(181,500)	-	875,000 (1,056,500)	
	工芸工業デザイン学科	前期	260,000	635,000	20,000	220,000	(181,500)	1,135,000 (1,316,500)	-	2,010,000 (2,373,000)
		後期	-	635,000	20,000	220,000	(181,500)	-	875,000 (1,056,500)	
	空間演出デザイン学科	前期	260,000	635,000	20,000	205,000	(181,500)	1,120,000 (1,301,500)	-	1,980,000 (2,343,000)
		後期	-	635,000	20,000	205,000	(181,500)	-	860,000 (1,041,500)	
	建築学科	前期	260,000	635,000	20,000	205,000	(181,500)	1,120,000 (1,301,500)	-	1,980,000 (2,343,000)
		後期	-	635,000	20,000	205,000	(181,500)	-	860,000 (1,041,500)	
	基礎デザイン学科	前期	260,000	635,000	20,000	205,000	(181,500)	1,120,000 (1,301,500)	-	1,980,000 (2,343,000)
		後期	-	635,000	20,000	205,000	(181,500)	-	860,000 (1,041,500)	
	芸術文化学科	前期	260,000	635,000	20,000	205,000	(181,500)	1,120,000 (1,301,500)	-	1,980,000 (2,343,000)
		後期	-	635,000	20,000	205,000	(181,500)	-	860,000 (1,041,500)	
	デザイン情報学科	前期	260,000	635,000	20,000	212,500	(181,500)	1,127,500 (1,309,000)	-	1,995,000 (2,358,000)
		後期	-	635,000	20,000	212,500	(181,500)	-	867,500 (1,049,000)	
造形構想学部	クリエイティブイノベーション学科	前期	260,000	635,000	20,000	205,000	(181,500)	1,120,000 (1,301,500)	-	1,980,000 (2,343,000)
		後期	-	635,000	20,000	205,000	(181,500)	-	860,000 (1,041,500)	
	映像学科	前期	260,000	635,000	20,000	205,000	(181,500)	1,120,000 (1,301,500)	-	1,980,000 (2,343,000)
		後期	-	635,000	20,000	205,000	(181,500)	-	860,000 (1,041,500)	

* 入学手続時に後期学費も一括納入できます。

* 入学時には別途、学生教育研究災害傷害保険料および学研災付帯賠償責任保険料合計4,660円(予定)が徴収されます。

* 卒業年次には別途、校友会費が徴収されます。

* 2年目以降は入学金を除く学費が必要です。

通信機器（ノートパソコン等）の準備について

本学では以下の理由から、入学後に使用するノートパソコン等の通信機器の準備を必須としています。

- ・学修を進める上で必要なデジタル資料の受領や課題の提出、プレゼンテーション資料作成に支障をきたさないため。
- ・今後も継続する可能性のあるオンライン授業の受講に支障をきたさないため。
- ・ICT機器の活用スキル、情報リテラシーの向上に資するため。

*詳細は合格者向けwebサイトに掲載します。

*購入にかかる推奨PC等の情報を合格者向けwebサイトに掲載します。

奨学金制度について

武蔵野美術大学は高等教育の修学支援新制度の対象校に認定されています。

制度の詳細は文科省該当ページ、在籍中の学校にお問い合わせください。

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm

認定者の入学後の手続きは学生生活チーム奨学金担当TEL(042-342-6028)へお問い合わせください。

また、武蔵野美術大学独自の奨学金制度については、大学webサイトの奨学金ページを参照してください。

https://www.musabi.ac.jp/student_life/tuition/scholarship/

入学前課題について

合格者には入学前課題があります。

詳細については、後日合格者向けwebサイトに掲載します。

日本画学科の理念と教育課程の特色

日本画学科は現代に生きる私たちの感性を大切に、幅広い視野と判断力を持った学生を育てることを目指しています。

日本画は高い造形思考と優れた絵画性を持ち、内に多くの可能性を秘めています。その独自の空間意識や素材・技法は、世界の中でも独自の位置を占めています。

本学科は日本画の基礎的な専門技法を習得し、現代の表現として展開し創造し得る力を育てることを目的としています。造形学部の4年間では、まず静物の写生から入り、日本画の重要な要素である線について学びます。また風景、人物などの多くの課題を通して、あらゆる角度から日本画を体得します。各課題に意欲的に取り組むことで、自然から多くを学び、次第に大きな画面を構成する造形力を養います。墨、天然顔料、金銀箔などの伝統的な素材や技法、それに伴う手仕事の数々は、時代の流れに逆行するかに見えますが、そこには造形表現の本源的な問題があることを理解することが重要です。

東洋画では写意を尊ぶところがあります。しかし、あくまでも自然を十分に観察し、見つめる姿勢が大切であり、写生から出発してこそ豊かな深さを持つ日本画の奥行きを理解することができるのです。また、古典研究も大切であり、仏画、大和絵、水墨画、絵巻物などの模写を通して日本画の深奥を学ぶことは、伝統的な表現を現代の表現につなげていく力ともなります。

本学科は学生と教員の対話を重んじ、学生は広く教員からの指導を受けることができます。一生で最も感性の横溢した時期に、学友と表現の喜びと苦しみを共に味わい、切磋し、高め合い、かけがえのない学生生活を過ごすことが大切です。

総合型選抜の審査基準と受験生に期待すること

①審査基準

提出された作品とポートフォリオから、基礎的な造形力、独自の発想などの想像力、制作に対する意欲が感じ取れるかなどをポイントに評価します。実技でも基礎的な描写力とともに構成や表現の独自性があるかを観点として採点します。面接では、本学の日本画学科を選んだ理由や美術に関する知識を探り、大学に入ってから授業に対応できるか判断します。

②受験生に期待すること

実技の優れている者、個性が秀でている者など、一般選抜では捉えにくい様々な資質と可能性、表現意欲を持った学生を受け入れたいと考えています。

出願時の注意事項

- ・必要書類についてはP04～05を熟読してください。
- ・提出作品自己作成証明書について
巻末にある日本画の記入例を必ず確認してください。記入する必要があるものは、
①出願期間内に郵送するポートフォリオ(P06「作品・ポートフォリオ提出」を参照)
②2次選考時に持参する予定の実作品
についてです。②についても出願の段階で記入が必要ですので注意してください。
- ・各選考の詳細については次ページを参照してください。

第1次選考**1. 選考方法****ポートフォリオ(作品資料ファイル)および自己推薦調書による審査**

ポートフォリオ(作品資料ファイル)および自己推薦調書を総合的に評価し、第2次選考対象者を決定します。

選考結果については、10月13日(火)11:00にweb出願システムのマイページ[<https://exam-entry.52school.com/musabi/mypage>]にて発表します。

2. 提出物**(1)ポートフォリオ(作品資料ファイル)**

以下の要領に基づき作成してください。

- A4サイズのクリアファイル1冊に自身の作品資料をまとめて収録してください。
- ポートフォリオに収録する作品資料は、自身で制作したものであれば、内容は自由とします。学校等の課題で制作した作品資料でも、自主制作の作品資料でも構いません。自分が見てもらいたい作品資料を収録してください。
- 作品資料は作品の写真を基本とします。作品名、サイズ、素材(画材)、制作時期を明記してください。作品そのものをポートフォリオに収録した場合、破損および紛失した際の責任は負いません。
- 作品資料は、規定のサイズ、冊数が守られていれば何点収録しても構いません。
- 共同制作等の資料については、制作の過程において志願者本人が担当した内容を明記してください。
- 展覧会、コンクール等に入選したことを証明する資料や、新聞、雑誌等に掲載された記事がある場合は、ポートフォリオに収録しても構いません。収録する際は資料の出典、発行年月等を併記してください。
- ポートフォリオには略歴は収録しないでください。
- ポートフォリオには教員へのメッセージ、自作ではない作品資料、収録作品と関連がない資料等は収録しないでください。
- ファイルの表紙に必ず「作品用氏名ラベル」を貼付してください。

*ポートフォリオ(作品資料ファイル)は試験終了後から翌月末までの間を目途に返却します。

(2)自己推薦調書

本学所定の用紙に、以下のテーマに基づき記述してください。

出願書類と共に郵送してください。

日本画学科自己推薦調書テーマ

「日本画学科に入ってあなたは何をしたいのかについて」(800字以内)

*用紙は本学所定の用紙「自己推薦調書」を使用してください。

*用紙のNo.1のみに記入し提出してください。用紙には氏名を記入してください。

*BもしくはHBの鉛筆または黒のボールペンで記入してください。ワープロ等の使用は認めません。

第2次選考**1. 選考方法****実技試験(鉛筆デッサン)、作品審査および面接**

作品審査および面接は、当日持参した実作品と第1次選考の際に提出されたポートフォリオ(作品資料ファイル)の審査を面接と併せて実施します。

2. 選考日時

11月1日(日) 9:30~12:30 鉛筆デッサン
13:30~ 作品審査および面接

3. 実技試験携行用具

鉛筆、消具、カッターナイフ、フィクサティブ(定着液)、パネルまたはカルトン[51cm×66cm以上]、画紙またはクリップ、その他鉛筆デッサン用具

※特定の携行用具の使用可否については、お問い合わせいただいても回答はできません。

募集要項記載内容をご自身で判断し、試験当日持参した用具について試験官に注意を受けた場合は、その指示に従ってください。

※バッテリー駆動、電力を使用する用具の使用は不可とします。

4. 当日持参作品

1年以内に制作した作品3点以内(絵画作品、デッサン等/描画材自由)。

サイズは当日、本人が持参できる大きさとして。

*作品用氏名ラベル(本学所定の用紙)を作品1点につき1枚添付してください。

*当日持参作品は、出願時に提出する「提出作品自己作成証明書」にも記載してください。

5. 面接時の注意事項

当日持参作品を除き、面接時の作品や資料等の持ち込みは不可とします。

☐ 油絵学科(油絵専攻)の理念と教育課程の特色

情報社会と言われる今日、映像やインターネットなど、人間の欲望を刺激する技術が次々と生まれています。そして瞬時に、誰にでも等しく広がる情報は、生活を便利にする半面、その過剰さによって多くの弊害をも生み始めています。このような時代だからこそ、油絵学科では現実の世界に存在する私たち自身の本質をしっかりと見据えたいと考えています。それには、まず描く・つくるという行為を通して身の回りの世界と向き合い、そこから学ぶという姿勢が必要です。それは単に造形力を養うということを意味するものではありません。そこに現れる色や形を通して、自身の表現のあり方を発見し、この過剰な世界といかに対峙するかを考えていかなければなりません。

油絵学科には油絵専攻とグラフィックアーツ専攻があり、基本的には絵画、版画を中心とした制作活動を行います。現代の表現の可能性の広がり認識し、立体作品やインスタレーション、また映像などのメディア表現へと広がる新しい領域に応える体制を整えています。

また当学科は絵画組成室を併設し、古典を中心とした技法、材料の充実した研究を行っています。学生はこれらに関する授業をコース選択、または一般の授業と並行して受講することができます。

4年間は瞬く間に過ぎます。現代の美術の多様な広がりや価値観の不透明性を考えると、4年間は十分な助走期間とは言えないかもしれません。しかし、過去に本学科で学び、現在も作家として活動続ける多くの先輩たちがいます。芸術との関わりの持ち方は様々ですが、私たちは、芸術を心から愛し、真剣に取り組む表現者を、一人でも多く輩出していきたいと考えています。

☐ 総合型選抜の審査基準と受験生に期待すること

①審査基準

●ポートフォリオ

提出作品よりも、さらにその人独自の世界観を幅広く表現できるのがポートフォリオです。これまでに制作した作品をA4ファイル1冊にまとめて提出してください。1ページ1点を基本とし、制作年、作品のサイズ、素材、タイトルを必ず入れてください。必要に応じて制作の意図やこだわった点なども書くといでしょう。作品点数は多ければいいというわけではありませんが、あまり厳選し過ぎても全体像がつかみにくいので、ある程度の量がある方が望ましいです。例えば自分のメインの作品が油絵だった場合、それに関連するドローイングやイメージスケッチ、写真などを加えるのもよいでしょう。「この1冊が自分自身である」と言えるくらいの内容の濃いものを期待します。

●提出作品

過去1～2年に制作した作品を中心に3点以内で提出してください。高校、美術予備校などで制作した油絵、水彩、デッサンだけでなく、自らモチーフやテーマなどを設定してじっくり時間をかけて取り組んだ作品にも期待します。絵画作品を基本としますが、映像、立体、インスタレーション、パフォーマンスなど表現形態は問いません。重要なのは作品サイズや表現形態ではなく、内容の豊かさ、オリジナリティ、表現としての強さ、です。

●面接

まず提出作品について説明をしてもらい、作品制作全般のことや好きな作家についてなど、日頃考えていることを聞いています。また本学へ入学してからどのようなことを学びたいのか、将来の展望や興味関心ごとなどを自分の言葉で述べてください。面接はスムーズに話すことを求めているわけではないので、予期しない質問にも準備していないからと焦るのではなく、その場で考え、率直に話してくれることが望ましいです。

②受験生に期待すること

一般入試と異なり他人から課題を与えられるものではないので、まず自由な発想で楽しんで制作した結果が重要です。作品の良し悪しはもちろん重要ですが、それ以上に、粗削りではあっても将来につながる「種」のようなものの存在に注目したいと考えています。それには、訓練によって短所を最小限にすることより、長所を最大限に伸ばすことを心がけてほしいと思います。試行錯誤しながらもそれぞれの表現の探求がはじまっているかどうかを重視します。

☐ 出願時の注意事項

- ・必要書類についてはP04～05を熟読してください。
- ・提出作品自己作成証明書について
巻末にある油絵・グラフィックアーツの記入例を必ず確認してください。記入する必要があるものは、
①出願期間内に郵送するポートフォリオ(P06「作品・ポートフォリオ提出」を参照)
②2次選考時に持参する予定の実作品
についてです。②についても出願の段階で記入が必要ですので注意してください。
- ・各選考の詳細については、次ページおよびQ & Aを参照してください。

第1次選考

1. 選考方法

ポートフォリオ(作品資料ファイル)および自己推薦調書による審査

ポートフォリオ(作品資料ファイル)および自己推薦調書を総合的に評価し、第2次選考対象者を決定します。

選考結果については、10月13日(火)11:00にweb出願システムのマイページ[<https://exam-entry.52school.com/musabi/mypage>]にて発表します。

2. 提出物

(1)ポートフォリオ(作品資料ファイル)

以下の要領に基づき作成してください。

○A4サイズのファイル1冊に自身の作品資料をまとめて収録してください。

○ポートフォリオに収録する作品資料は、自身で制作したものであれば、内容は自由とします。学校等の課題で制作した作品資料でも、自主制作の作品資料でも構いません。自分が見てもらいたい作品資料を収録してください。

○作品資料は作品の写真を基本とします。作品名、サイズ、素材(画材)、制作時期を明記してください。作品そのものをポートフォリオに収録した場合、破損および紛失した際の責任は負いません。

○作品資料は、規定のサイズ、冊数が守られていれば何点収録しても構いません。

○共同制作等の資料については、制作の過程において志願者本人が担当した内容を明記してください。

○ポートフォリオに略歴を収録したい場合は、用紙1枚に簡潔にまとめてください。

○ポートフォリオには教員へのメッセージ、自作ではない作品資料、収録作品と関連がない資料等は収録しないでください。

○ファイルの表紙に必ず「作品用氏名ラベル」を貼付してください。

*ポートフォリオ(作品資料ファイル)は試験終了後から翌月末までの間を目途に返却します。

(2)自己推薦調書

本学所定の用紙に、以下のテーマに基づき記述してください。

出願書類と共に郵送してください。

油絵学科(油絵専攻/グラフィックアーツ専攻)自己推薦調書テーマ

「私の作品について」(800字以内)

*用紙は本学所定の用紙「自己推薦調書」を使用してください。

*用紙のNo.1のみに記入し提出してください。用紙には氏名を記入してください。

*BもしくはHBの鉛筆または黒のボールペンで記入してください。ワープロ等の使用は認めません。

第2次選考

1. 選考方法

作品審査および面接

当日持参した実作品と第1次選考の際に提出されたポートフォリオ(作品資料ファイル)の審査を面接と併せて実施します。

2. 選考日

11月1日(日)

*集合時間は本学webサイトに後日掲載します。

3. 当日持参作品

1~2年以内に制作された作品3点以内(絵画作品、デッサン、その他/描画材および制作方法は自由)。

50号程度を目安として、原則当日持参できることとします。

絵画作品、立体作品を除く、インスタレーションまたはパフォーマンスを提出する場合は、

作品を記録した写真または動画で提出すること。

5分以上の作品は5分以内に編集し、提出すること。

動画を提出する手順は以下の通り

1. 作品をYouTubeに投稿する。(限定公開設定を推奨)

動画タイトルに作品名、概要欄に氏名・コンセプト(80字以内)を表記すること。

2. 以下のWEBフォームを提出する。

提出内容:氏名、マイページ整理番号、自己作品証明書記載の作品番号、作品名、作品種別、簡潔な動画内容、動画URL

動画作品提出WEBフォーム:<https://forms.cloud.microsoft/r/ZbS9Njc5QJ>

3. 提出当日はA4サイズの用紙に必要事項を印刷し提出する。

必要事項:投稿動画のQRコード、氏名、マイページ整理番号、自己作品証明書記載の作品番号、コンセプト(80字以内)

作品提出に必要な機材などの貸し出しは行いませんので、各自で用意してください。

*当日、作品を持参できない場合は、宅配業者や郵送業者などに委託し事前に送付することも可能です。送付提出に関する注意事項は、

本学webサイト[https://www.musabi.ac.jp/exam_info/]に掲載します。

*作品用氏名ラベル(本学所定の用紙)を作品1点につき1枚添付してください。

事前提出フォーム

*当日持参作品は、出願時に提出する「提出作品自己作成証明書」にも記載してください。

*入試のためのポートフォリオ、提出作品は搬入、搬出などで破損する場合がありますので、注意してください。

4. 面接時の注意事項

当日持参作品を除き、面接時の作品や資料等の持ち込みは不可とします。



油絵学科(グラフィックアーツ専攻)の理念と教育課程の特色

版画の学びを止めるのではなく、積み重ねられてきた版画の歴史の上にイラストレーションや絵本、ブックアート、デジタル表現といった解き放たれた版画の姿を重ね合わせることがグラフィックアーツ専攻の理念と教育課程の骨格となっています。

印刷技術に出自を持つ版画は、社会の中で情報の複製と伝達という中枢的な機能を担いながら、柔軟にその姿を変えて今日まで受け継がれてきました。急速なデジタル化が進む現代においても色あせることなく、その存在価値を発揮し続けています。美術作品として存在するだけでなく、日常生活の傍らでもデザインという立ち位置に軸足を移して産業、そして社会を支えているのです。アナログやデジタルを問わず、あらゆる複製メディア表現にその規範が広がりつつある中、解き放たれた版画、すなわちグラフィックアーツの可能性をとことん追求していく場がムサビのグラフィックアーツ専攻なのです。

繰り返しますが、グラフィックアーツ専攻におけるすべての学びの出発点が、版画であるという考え方が教育課程の基本です。長い歴史の中で培われてきた版画の技法や表現展開を、高度な専門性の中でアカデミックに習得することから学びがスタートします。そのうえで、イラストレーションや絵本、ブックアート、デジタル表現といったデザイン領域へと展開し、貴重書研究なども含めた幅広い視座も併せながら、きめ細かく指標を定めていく指導が特徴です。

総合型選抜の審査基準と受験生に期待すること

①審査基準

●ポートフォリオ

自分自身が今までやってきたこと、これからやりたいことを積極的にアピールしてください。ポートフォリオの中に収められた作品資料から、推し測られる将来の可能性を積極的に評価したいと考えています。今まで取り組んできた作品や活動をA4ファイル1冊に収めて、プレゼンテーションしてください。すべてが万遍なく満たされた、標準的な造形力だけを問うものではありません。偏っていても構わないので、自分の一番自信があるもの、自分の力が一番発揮できた作品群を系統的に見せてください。油絵、デッサン、版画、水彩画、写真、イラストレーションなどのほか、ポスターや絵本などでも構いません。ファイン系だけでなく、デザイン領域の作品も積極的に評価します。ジャンルや媒体は問いませんので、自分の可能性をどんどんアピールしてください。もちろん、受験対策課題として取り組んだ油絵やアクリル、着彩、デッサン、色彩構成などを中心にまとめて、ベーシックな造形力そのものをアピールしてもまったく構いません(実作品はポートフォリオには入れないでください。紙に印刷した作品画像を中心にまとめるのが一般的です。作品データについても過不足のない記載が望ましいです)。

●提出作品

どれだけ時間がかかっても構わないので、自宅や学校などで納得いくまで追求した作品を見せてほしいと考えています。一般選抜は、決められた時間内に決められたモチーフを描く形式ですが、総合型選抜[前期]の提出作品のテーマはまったく自由です。制作時間にも制限はありません。十分に時間をかけて制作したオリジナリティあふれる作品を期待しています。油絵、アクリル、水彩、版画、デッサン、その他の技法や素材等も自由です。(表現形式は問いませんが、入学後に学ぶグラフィックアーツ専攻のカリキュラムへの適性を判断するため、平面作品、あるいはそれに準じたものが望ましいです)

●面接

面接を通して自分が将来やりたいことや、進みたい方向性を積極的にアピールしてください。なぜ、ムサビのグラフィックアーツ専攻で学びたいかも明確に意識しておいた方がよいです。滑らかに答える必要はありません。つまりながらも構わないので、しっかりと自分の意見を、自分の言葉で述べてほしいと考えています。

②受験生に期待すること

粗削りでも、その人の可能性、“何か光るもの”を見極めたいと考えています。試験当日、実技は一切、課しません。現時点での実技能力の到達度を第一に見るのではなく、将来、開花するであろう潜在的な資質を幅広く測りたいと考えています。何かが足りなくても、それを補うような可能性や方向性、やり抜く強い意思などを提出作品やポートフォリオ、面接を通して積極的にアピールしてください。

出願時の注意事項

- ・必要書類についてはP04～05を熟読してください。
- ・提出作品自己作成証明書について
巻末にある油絵・グラフィックアーツの記入例を必ず確認してください。記入する必要があるものは、
①出願期間内に郵送するポートフォリオ(P06「作品・ポートフォリオ提出」を参照)
②2次選考時に持参する予定の実作品
についてです。②についても出願の段階で記入が必要ですので注意してください。
- ・各選考の詳細については、次ページを参照してください。

第1次選考

1. 選考方法

ポートフォリオ(作品資料ファイル)および自己推薦調書による審査

ポートフォリオ(作品資料ファイル)および自己推薦調書を総合的に評価し、第2次選考対象者を決定します。

選考結果については、10月13日(火)11:00にweb出願システムのマイページ[<https://exam-entry.52school.com/musabi/mypage>]にて発表します。

2. 提出物

(1)ポートフォリオ(作品資料ファイル)

以下の要領に基づき作成してください。

- A4サイズのクリアファイル1冊に自身の作品資料をまとめて収録してください。
- ポートフォリオに収録する作品資料は、自身で制作したものであれば、内容は自由とします。学校等の課題で制作した作品資料でも、自主制作の作品資料でも構いません。自分が見てもらいたい作品資料を収録してください。
- 作品資料は作品の写真を基本とします。作品名、サイズ、素材(画材)、制作時期を明記してください。作品そのものをポートフォリオに収録した場合、破損および紛失した際の責任は負いません。
- 作品資料は、規定のサイズ、冊数が守られていれば何点収録しても構いません。
- 共同制作等の資料については、制作の過程において志願者本人が担当した内容を明記してください。
- ポートフォリオに略歴を収録したい場合は、用紙1枚に簡潔にまとめてください。
- ポートフォリオには教員へのメッセージ、自作ではない作品資料、収録作品と関連がない資料等は収録しないでください。
- ファイルの表紙に必ず「作品用氏名ラベル」を貼付してください。

*ポートフォリオ(作品資料ファイル)は試験終了後から翌月末までの間を目途に返却します。

(2)自己推薦調書

本学所定の用紙に、以下のテーマに基づき記述してください。

出願書類と共に郵送してください。

油絵学科(油絵専攻/グラフィックアーツ専攻)自己推薦調書テーマ

「私の作品について」(800字以内)

*用紙は本学所定の用紙「自己推薦調書」を使用してください。

*用紙のNo.1のみに記入し提出してください。用紙には氏名を記入してください。

*BもしくはHBの鉛筆または黒のボールペンで記入してください。ワープロ等の使用は認めません。

第2次選考

1. 選考方法

ポートフォリオ(作品資料ファイル)および自己推薦調書、作品審査および面接

当日持参した実作品と第1次選考の際に提出されたポートフォリオ(作品資料ファイル)および自己推薦調書審査を面接と併せて実施します。

2. 選考日

11月1日(日)

*集合時間は本学webサイトに後日掲載します。

3. 当日持参作品

1~2年以内に制作された作品3点以内(絵画作品、デッサン、その他本形式(絵本・アートブック等)やデジタル作品等も可/描画材および制作方法は自由)。

受験生本人が移動可能なサイズ・重量の範囲内として、原則当日持参できることとします。

*デジタル作品の場合は、USBに収録して提出すること。(モニターはこちらで用意)

*当日、作品を持参できない場合は、宅配業者や郵送業者などに委託し事前に送付することも可能です。送付提出に関する注意事項は、本学webサイト[https://www.musabi.ac.jp/exam_info/]に掲載します。

*作品用氏名ラベル(本学所定の用紙)を作品1点につき1枚添付してください。

*当日持参作品は、出願時に提出する「提出作品自己作成証明書」にも記載してください。

4. 面接時の注意事項

当日持参作品を除き、面接時の作品や資料等の持ち込みは不可とします。

▢ 彫刻学科の理念と教育課程の特色

Sculpture(彫刻の表現)は「未知の世界を現実の空間に出現させることができる領域」です。この表現は、「触覚」という人間の最も根源的な感覚をベースに持つ、極めて原始的なものでありながら、人間の歴史をつくってきた様々な素材と技術(土/石/木/ブロンズ/鉄などの伝統的な技術、プラスチック/デジタルなどの現代的な技術)と結びつき、他の芸術ジャンルに比して独自の世界をつくっています。彫刻は「彫る、刻む」と書きますが、これは広い意味で「物質に働きかけること=つくる行為」を意味します。さらに別の言い方をすれば、彫刻は「物を存在させる表現」と言うことができますでしょう。

彫刻学科は「工房を駆使する学科」です。他に類を見ない設備とスペースを持った8つの工房(塑像/セラミック/石彫/木彫/金属/プラスチック/ミクストメディア/デジタル)を駆使することから制作をします。これらの工房と、4年間を通して表現についての思考を深めるカリキュラムの組み合わせにより、一人ひとりが深く一つの素材を追求することも、複数の素材に関わって独自の領域を発明していくことも可能な制作環境となっています。

彫刻は、伝統的な制作方法と作品を更新しながら、同時に全くこれまでの歴史とは関係ない方法を発明し、作品を作り出すことでその世界を拡大してきました。彫刻ときいても何をイメージしていいかわからない人がいる理由は、この彫刻の拡大し、変化していく性格にあると思います。

私たちが生きる現在(いま)を考え、彫刻という方法を学ぶことから、その先にどのような表現を見つけるのか。みなさんが実現できる表現は拡大し、変化し続けているのです。

▢ 総合型選抜の審査基準と受験生に期待すること

①審査基準

●ポートフォリオ

1~2年前から現在までに制作した作品を、A4サイズのクリアファイル1冊にまとめて提出してください。作品データには、必ず「作品名」「制作年」「作品の大きさ(高さ×幅×奥行cm)」「素材」を入れてください。「ものの見方の進展」を評価のポイントの一つとします。作品は少なくとも3点以上掲載してください。

●提出作品

自由制作(1年以内に制作された作品)と課題制作の両方を提出してください。表現の追求力とオリジナリティ、ものを見る力(観察力と分析力)を評価します。表現方法は問いません。自主制作を期待します。自由制作の作品数は問いません。課題制作は1点です。4m²(2m×2m)のスペースを最大限に活用して展示してください。

●面接

大学に入学するとさまざまな美術作品や作家の考え方に触れることになります。知識も必要ですが、好奇心も大切です。作品の好き嫌いばかりではない「興味の許容量」を問う質問をする場合があります。また提出作品についての簡単なコメントを求めます。

②受験生に期待すること

私たちの学科は、多様な入試方式を取り入れ、一般選抜では測りきれない資質の人材を受け入れたいと考えています。独創的な感性も大切ですが、試行錯誤を恐れずに制作を続ける根気と好奇心、探究力があることを求めます。

▢ 出願時の注意事項

- ・必要書類についてはP04~05を熟読してください。
- ・提出作品自己作成証明書について
巻末にある彫刻の記入例を必ず確認してください。記入する必要があるものは、
①出願期間内に郵送するポートフォリオ(P06「作品・ポートフォリオ提出」を参照)
②2次選考時に持参する予定の実作品
についてです。②についても出願の段階で記入が必要ですので注意してください。
- ・各選考の詳細については、次ページを参照してください。

第1次選考**1. 選考方法****ポートフォリオ(作品資料ファイル)および自己推薦調書による審査**

ポートフォリオ(作品資料ファイル)および自己推薦調書を総合的に評価し、第2次選考対象者を決定します。

選考結果については、10月13日(火)11:00にweb出願システムのマイページ[<https://exam-entry.52school.com/musabi/mypage>]にて発表します。

2. 提出物**(1)ポートフォリオ(作品資料ファイル)**

以下の要領に基づき作成してください。

- A4サイズのクリアファイル1冊に1～2年前から現在までに制作した自身の作品資料をまとめて収録してください。
- ポートフォリオに収録する作品資料は、自身で制作したものであれば、内容は自由とします。学校等の課題で制作した作品資料でも、自主制作の作品資料でも構いません。自分が見せたい作品資料を収録してください。
- 作品資料は作品の写真を基本とします。作品名、サイズ、素材(画材)、制作時期を明記してください。作品そのものをポートフォリオに収録した場合、破損および紛失した際の責任は負いません。
- 作品資料は、規定のサイズ、冊数が守られていれば何点収録しても構いません。
- 共同制作等の資料については、制作の過程において志願者本人が担当した内容を明記してください。
- 展覧会、コンクール等に入選したことを証明する資料や、新聞、雑誌等に掲載された記事がある場合は、ポートフォリオに収録しても構いません。収録する際は資料の出典、発行年月等を併記してください。
- ポートフォリオに略歴を収録したい場合は、用紙1枚に簡潔にまとめてください。
- ポートフォリオには教員へのメッセージ、自作ではない作品資料、収録作品と関連がない資料等は収録しないでください。
- ファイルの表紙に必ず「作品用氏名ラベル」を貼付してください。

*ポートフォリオ(作品資料ファイル)は試験終了後から翌月末までの間を目途に返却します。

(2)自己推薦調書

本学所定の用紙に、以下のテーマに基づき記述してください。

出願書類と共に郵送してください。

彫刻学科自己推薦調書テーマ

「私の作品について」(800字以内)

*用紙は本学所定の用紙「自己推薦調書」を使用してください。

*用紙のNo.1のみに記入し提出してください。用紙には氏名を記入してください。

*BもしくはHBの鉛筆または黒のボールペンで記入してください。ワープロ等の使用は認めません。

**第2次選考****1. 選考方法****ポートフォリオ(作品資料ファイル)および自己推薦調書、作品審査および面接**

当日持参した実作品と第1次選考の際に提出されたポートフォリオ(作品資料ファイル)および自己推薦調書審査を面接と併せて実施します。

2. 選考日

11月1日(日)

*集合時間は本学webサイトに後日掲載します。

3. 当日持参作品

- ・自由制作*1+課題制作*2を4m²(2m×2m)のスペースに展示する
- ・制作方法・素材は自由(大きさは搬入扉240cm×176cmから入れられるもの)

*1:自由制作(点数は自由)

この1年間に制作した作品。表現方法、素材は自由

*2:課題制作(1点)

課題:今、あなたがいる部屋の中にあるもので「役に立たないもの」あるいは「捨てるもの」から一つを選び、それをモチーフとして制作しなさい。表現方法、素材は自由

*作品用氏名ラベル(本学所定の用紙)を作品1点につき1枚添付してください。

*当日持参作品は、出願時に提出する「提出作品自己作成証明書」にも記載してください。

4. 面接時の注意事項

当日持参作品を除き、面接時の作品や資料等の持ち込みは不可とします。

Ⅲ 工芸工業デザイン学科の理念と教育課程の特色

工芸工業デザイン学科は、私たちが生活する上で必要な様々な生活用品と住空間を対象に多彩な創作活動を行っています。クラフトデザイン、インダストリアルデザイン、インテリアデザインの3つのコースで編成され、技と知と豊かな精神を持ち合わせたデザイナー・作家の育成を目指しています。

クラフトデザインコースでは、さらに金工・陶磁・木工・テキスタイル・ガラスの5つの素材の専攻に分かれています。それぞれの素材の特性や魅力を大切にしながら、制作技術を学び、新しい表現への展開を目指して作品を制作します。デザイン・工芸・アートの領域を往来しながら柔軟に発想する教育を行っているのも本コースの特徴です。

インダストリアルデザインコースでは、車や家電、日用品などの工業製品全般を対象にデザインを行います。社会のニーズに応えるデザイナーの教養を身につけ、技術と生活者の価値観を見据えたデザイン提案力を養います。また社会との連携を図れる人材育成を教育ベースに置いています。

インテリアデザインコースではモノと空間の関係を幅広く捉え、家具、照明器具、小物などのインテリアプロダクトから、ショップ、住宅などの室内空間の設計・デザインまでを行います。プロダクトのデザインでは実際に工房で原寸の作品を検証を重ねながら制作します。コンセプト・アイデアを重視すると同時に具体的な制作、設計をしっかりと行い、幅の広い応用力と想像力溢れる人材を育てる教育を行います。

このように、工芸工業デザイン学科は人と生活をキーワードにモノと空間を含む生活環境を総合的に創造する場です。クラフト、インダストリアル、インテリアの3領域をひとつにまとめ、それぞれの専門領域を深めると同時に、これからの社会に必要な領域を超える新しい発想と提案が可能となる学科です。

Ⅳ 総合型選抜の審査基準と受験生に期待すること

① 審査基準

●ポートフォリオ

自主制作の作品、学校での課題作品などを一冊にまとめてください。作品のオリジナリティ、デザイン力、制作力を評価します。立体作品に限らず、平面作品など、ジャンルは問わず評価します。作品数は不問ですが、多ければいいというわけではありません。

●提出作品

自主制作の作品、学校での課題作品などの実物を提出してください。ポートフォリオと同様の評価基準ですが、紙面では伝えきれない実物の作品力を含めて評価します(ポートフォリオに入っている作品でもそれ以外の作品でも良いです)。

●面接

人物の個性、長所を評価します。また提出作品に対する説明の伝わりやすさも評価のポイントとなります。

② 受験生に期待すること

モノづくり、デザインにおいては、様々な観察やいろいろな体験の積み重ねが必要です。さらにモノだけではなく、いろいろな人とコミュニケーションができ、使う人の気持ちや価値観などを理解することも必要です。その上で、総合型選抜では、絶えずいろいろなコトに興味を抱き、最後までやり遂げる意思と情熱、またモノをつくること、デザインを考えることが好きで、制作する喜びを共有できる人材を求めます。総合型選抜では、一般選抜で捉えにくい個性的な資質や、秀でた技能を持つ優れた人材を期待します。

Ⅴ 出願時の注意事項

- ・ 必要書類についてはP04～05を熟読してください。
- ・ 提出作品自己作成証明書について
巻末にある工芸工業デザイン(一般方式)の記入例を必ず確認してください。記入する必要があるものは、
①出願期間内に郵送するポートフォリオ(P06「作品・ポートフォリオ提出」を参照)
②2次選考時に持参する予定の実作品
についてです。②についても出願の段階で記入が必要ですので注意してください。
- ・ 各選考の詳細については、次ページを参照してください。

第1次選考**1. 選考方法****ポートフォリオ(作品資料ファイル)および自己推薦調書による審査**

ポートフォリオ(作品資料ファイル)および自己推薦調書を総合的に評価し、第2次選考対象者を決定します。

選考結果については、10月13日(火)11:00にweb出願システムのマイページ[<https://exam-entry.52school.com/musabi/mypage>]にて発表します。

2. 提出物**(1)ポートフォリオ(作品資料ファイル)**

以下の要領に基づき作成してください。

- A4～B4サイズのクリアファイル1冊に自身の作品資料をまとめて収録してください。
 - ポートフォリオに収録する作品資料は、自身で制作したものであれば、内容は自由とします。学校等の課題で制作した作品資料でも、自主制作の作品資料でも構いません。自分が見てもらいたい作品資料を収録してください。
 - 作品資料は作品の写真を基本とします。作品名、サイズ、素材(画材)、制作時期を明記してください。作品そのものをポートフォリオに収録した場合、破損および紛失した際の責任は負いません。
 - 作品資料は、規定のサイズ、冊数が守られていれば何点収録しても構いません。
 - 共同制作等の資料については、制作の過程において志願者本人が担当した内容を明記してください。
 - 展覧会、コンクール等に入選したことを証明する資料や、新聞、雑誌等に掲載された記事がある場合はポートフォリオに収録しても構いません。収録する際は資料の出典、発行年月等を併記してください。
 - ポートフォリオに略歴を収録したい場合は、用紙1枚に簡潔にまとめてください。
 - ポートフォリオには教員へのメッセージ、自作ではない作品資料、収録作品と関連がない資料等は収録しないでください。
 - ファイルの表紙に必ず「作品用氏名ラベル」を貼付してください。
- ＊ポートフォリオ(作品資料ファイル)は試験終了後から翌月末までの間を目途に返却します。

(2)自己推薦調書

本学所定の用紙に、以下のテーマに基づき記述してください。

出願書類と共に郵送してください。

工芸工業デザイン学科自己推薦調書テーマ

工芸工業デザイン学科で学びたいことと、あなたの将来の目標について記述してください。(800字以内)

＊用紙は本学所定の用紙「自己推薦調書」を使用してください。

＊用紙のNo.1のみに記入し提出してください。用紙には氏名を記入してください。

＊BもしくはHBの鉛筆または黒のボールペンで記入してください。ワープロ等の使用は認めません。

**第2次選考****1. 選考方法****作品審査および面接**

当日持参した実作品と第1次選考の際に提出されたポートフォリオ(作品資料ファイル)の審査を面接と併せて実施します。

2. 選考日

11月1日(日)

＊集合時間は本学webサイトに後日掲載します。

3. 当日持参作品

過去に制作した実技作品3点。

サイズは問いませんが、当日持参できることとします。

＊当日、作品を持参できない場合は、宅配業者や郵送業者などに委託し事前に送付することも可能です。送付提出に関する注意事項は、本学webサイト[https://www.musabi.ac.jp/exam_info/]に掲載します。

＊作品用氏名ラベル(本学所定の用紙)を作品1点につき1枚添付してください。

＊当日持参作品は、出願時に提出する「提出作品自己作成証明書」にも記載してください。

4. 面接時の注意事項

当日持参作品を除き、面接時の作品や資料等の持ち込みは不可とします。

Ⅱ 工芸工業デザイン学科の理念と教育課程の特色

工芸工業デザイン学科は、私たちが生活する上で必要な様々な生活用品と住空間を対象に多彩な創作活動を行っています。クラフトデザイン、インダストリアルデザイン、インテリアデザインの3つのコースで編成され、技と知と豊かな精神を持ち合わせたデザイナー・作家の育成を目指しています。

クラフトデザインコースでは、さらに金工・陶磁・木工・テキスタイル・ガラスの5つの素材の専攻に分かれています。身の回りの生活用品を中心に作品を制作しながら「柔らかい」「固い」「ザラザラしている」などといった素材に触れて養う感性を大切にします。またデザインやアートの領域を超えて自由に発想する教育を行っているのも本コースの特徴です。

インダストリアルデザインコースでは、車や家電、日用品などの工業製品全般を対象にデザインを行います。社会のニーズに応えるデザイナーの教養を身につけ、技術と生活者の価値観を見据えたデザイン提案力を養います。また社会との連携を図れる人材育成を教育ベースに置いています。

インテリアデザインコースでは、住宅やショップなどの室内空間そのもののデザイン、家具、照明器具などの幅広いインテリアプロダクトを対象にデザインを行います。またコンセプト・アイデアを重視すると同時に具体的な制作、設計をしっかりと行い、幅広い応用力を持つ人材を育てる教育を行います。

このように、工芸工業デザイン学科は人と生活をキーワードにモノと空間を含む生活環境を総合的に創造する場です。クラフト、インダストリアル、インテリアの3領域をひとつにまとめた教育こそが、それぞれの領域を極め、これからの社会に必要な領域を超える新しい発想と提案が可能となる学科です。

Ⅲ 総合型選抜の審査基準と受験生に期待すること

① 審査基準

● オンライン面接

志望動機と、これからやってみたい事を中心にお聞きします。興味を持つ事柄などを伺う中で、本学科で学べる内容・方向性との適合性などを勘案し、総合的に判断いたします。

● 思考プロセステスト

思考プロセステストは、以下のステップで実施します。

① ワークショップ

与えられたテーマに沿って自由に発想を展開して、アイデアを練ります。実際の授業のように、そのアイデアを複数の教員と相談しながら制作を体験します。その過程の中でコミュニケーション能力、発想力、独創性、熱意、集中力などを評価します。また、制作経験のない受験生にはワークショップ内で相談を受けます。

② プレゼンテーション

決められた時間内で制作物等を説明しながら発表してもらいます。発表の形式は自分の得意な方法で、自由ですが、発表前に教員と相談して決定してください。

③ 制作物

この入試では思考プロセスが評価の対象であり、最終的な制作物はその対象ではありません。

Ⅳ 出願時の注意事項

- ・必要書類についてはP04～05を熟読してください。
- ・各選考の詳細については、次ページを参照してください。

第1次選考

1. 選考方法

オンライン面接による審査

オンライン面接により評価し、第2次選考対象者を決定します。

選考結果については、10月13日(火)11:00にweb出願システムのマイページ[<https://exam-entry.52school.com/musabi/mypage>]にて発表します。

○試験日程

10月3日(土)、4日(日)

※日時等は10月初週を目的に出願時に登録したメールアドレス宛にお知らせします。

○試験方法

Zoomを使用したオンライン面接

※カメラ機能のついた情報端末(PC、タブレット、スマートフォン)を使用します。

※あらかじめZoomをインストールしてください。

○面接時間

10分程度

○事前準備

なし。ポートフォリオや作品等をその場で見せる事は禁止とします。

○面接テーマ

志望動機とこれまでの学内外での活動を中心にお聞きします。



第2次選考

1. 選考方法

思考プロセステスト

与えられたテーマに沿って自由にアイデアを練り、教員と相談しながら制作をし、プレゼンテーションを実施します。その過程でコミュニケーション能力、発想力、独創性、熱意、集中力などを評価します。

2. 選考日

10月31日(土) 8:30~19:00 (予定)

*集合時間は本学webサイトに後日掲載します。

3. 携行用具

鉛筆またはシャープペンシル(黒に限る、BもしくはHB)、消具

※ペン、下敷きの使用は認めない。

※バッテリー駆動、電力を使用する用具の使用は不可とします。

空間演出デザイン学科の理念と教育課程の特色

舞台やテレビのセットなど広く空間の表現手法を追求する[セノグラフィ]、店舗や展示、ショールームなどの空間を創造する[インテリアデザイン]、住宅やパブリック・スペースなど生活環境領域を扱う[環境計画]、衣服と身体から文化や環境へと視野を広げる[ファッションデザイン]。この4つのコースを軸に“専門性を深め、より豊かで美しい、高度な精神文化を表現する空間を創造すること”、これが本学科の目的です。

そのためには歴史的な素材や技法、新しいメディアやテクノロジーを理解し、自然そのものはもとより人間、文化を深く洞察することが欠かせません。空間概念は時代とともに変化し、特に都市空間においては様々な思考が生まれ、空間に新しい装置が仕掛けられています。空間の記憶は身体的経験を基盤として形成され発信されるものですから、まず感性を磨き、受容能力を高めていく必要があります。感性を磨く行為は日々の積み重ねの上に実るものであり、そのことが“人と空間の営み”を見つめていくことになります。

総合型選抜の審査基準と受験生に期待すること

①審査基準

独自性+表現力+意欲を総合的に判断しています。分かりやすく言うと、個性的な感性を持ち、その個性を表現でき、本学科に入りたいという強い意思を持つ人を希望しています。美術大学では、人と同じことよりも、自分らしさが強みになります。過去の図式にとらわれず、自分らしい表現を発揮してください。

②受験生に期待すること

空間演出デザイン学科で学ぶことの多くが、私たちの生活を支えるあらゆる分野の基盤であり、人間の夢がたっぷり詰まっています。ここで必要とされるのは、想像力や独創性、計画性、および社会に対する感受性や柔軟性などで、それは表現に向き合う勇氣ある姿勢だと言ってよいでしょう。そして、その多くは自分自身の視点で日常生活を見渡すことにより養われますが、なにより大切なのは人間を含めた自然への愛情です。一般選抜では、空間演出デザイン学科が扱う基礎的な資質を問います。しかし総合型選抜では、必ずしも平準化された基礎能力を問うものではありません。むしろ個性的な視点や情熱、夢や想像力豊かな人たちが対象となります。空間演出デザイン学科では人間の暮らしを元気あるものにしたいと願う熱量を高く評価したいと考えます。

出願時の注意事項

- ・必要書類についてはP04～05を熟読してください。
- ・提出作品自己作成証明書について
巻末にある空間演出デザインの記入例を必ず確認してください。記入する必要があるものは、
①2次選考時に持参する予定のポートフォリオおよび実作品
についてです。出願の段階で記入が必要ですので注意してください。自己推薦調書(1)作品については記入不要です。
- ・各選考の詳細については、次ページおよびQ & Aを参照してください。

第1次選考

1. 選考方法

自己推薦調書審査

自己推薦調書に基づき選考を行い、第2次選考対象者を決定します。

選考結果については、10月13日(火)11:00にweb出願システムのマイページ[<https://exam-entry.52school.com/musabi/mypage>]にて発表します。

2. 提出物

自己推薦調書

自己推薦調書として下記の作品と論文を提出してください。

出願書類と共に郵送してください。(1)作品については、折り曲げられない等の理由で出願書類に同封できない場合、出願期間内9月10日(木)～9月17日(木)に大学への配達が可能である方法(小包、簡易書留等)で郵送してください(P06参照)。

〈郵送先〉

〒187-8505 東京都小平市小川町1-736 武蔵野美術大学 入学センター 総合型選抜受付係

(1) 作品

“あなたが投影された空間”を自由に作品として表現しなさい。

(抽象／具象は問いません。)

* B4サイズ厚さ3cm以内(ベースを含む)の平面1枚に作成してください。

* 用紙は横位置で使用してください。

* 平面の素材は自由ですが、搬入時・保管時に破損しやすいもの、剥がれやすいもの、記述内容が不鮮明なもの、液体、生ものは不可とします。

* 作品は搬入・保管時に破損しないように留意してください。破損した場合責任を負いかねます。

* 作品の返却はいたしません。

* 自分の氏名と作品タイトルを用紙裏面の右下隅に美しく書いてください。作品用氏名ラベルの貼付は不要です。

* 絵、写真、図などを組み合わせても構いません。

* 色彩の使用は自由です。

* 立体作品は不可とします。

(2) 論文

(1)の作品について解説しなさい。(200字以上400字以内)

* 用紙は本学指定の用紙「自己推薦調書」を使用してください。

* はじめにタイトルを記入してください。

* 用紙は巻末より印刷し、BもしくはHBの鉛筆または黒のボールペンで記入してください。ワープロ等の使用は認めません。

第2次選考

1. 選考方法

構想力テスト、作品審査、面接

構想力テストは、与えられたテーマについて自分の考えを当日指定された手段(図・スケッチ、文章、パフォーマンスなど)によって表現する試験です。

作品審査および面接は、当日持参した実作品とポートフォリオ(作品資料ファイル)の審査を面接と併せて実施します。

2. 選考日時

11月1日(日) 9:30～10:30 構想力テスト
12:00～ 作品審査、面接

3. 携行用具

鉛筆、シャープペンシル、消具、フィキサチーフ

4. 当日持参作品

(1) ポートフォリオ(作品資料ファイル)

以下の要領に基づき作成してください。

○任意のファイル1冊に自身の作品資料をまとめて収録してください。

○ポートフォリオに収録する作品資料は、自身で制作したものであれば、内容は自由とします。学校等の課題で制作した作品資料でも、自主制作の作品資料でも構いません。自分が見てもらいたい作品資料を収録してください。

○作品資料は、冊数が守られていれば何点収録しても構いません。

○共同制作等の資料については、制作の過程において志願者本人が担当した内容を明記してください。

○展覧会、コンクール等に入選したことを証明する資料や、新聞、雑誌等に掲載された記事がある場合はポートフォリオに収録しても構いません。収録する際は資料の出典、発行年月等を併記してください。

○ポートフォリオには教員へのメッセージ、自作ではない作品資料、収録作品と関連がない資料等は収録しないでください。

○ファイルの表紙に必ず「作品用氏名ラベル」を貼付してください。

* ポートフォリオ(作品資料ファイル)は試験終了後から翌月末までの間を目途に返却します。

(2) 1年以内に制作した作品1点

○サイズは900mm×600mm×高さ1800mm以内に収まるサイズとします。

○郵送、事前搬入不可。当日持参してください。

* 作品用氏名ラベル(本学所定の用紙)をポートフォリオと作品にそれぞれ1枚添付してください。

* 当日持参作品は、出願時に提出する「提出作品自己作成証明書」にも記載してください。

* 当日持参作品の提出に係る備品の貸し出しは行いません。例えばトルソー等に着せた状態で見せたい場合は、トルソー等も持参してください。

* 当日提出した作品を着用して面接を受けることはできません。

* 火気、液体は禁止です。

5. 面接時の注意事項

当日持参作品を除き、面接時の作品や資料等の持ち込みは不可とします。

建築学科の理念と教育課程の特色

建築学科は「室内から都市全体の環境に至るまでを、快適な人間生活のための空間として総合的に計画し造形し得る人材を育てる」建築デザイン教育を理念として掲げ、1965年に創設されました。この創設時の文書は「より美しく快い生活空間をうみだす」とも述べ、さらに「建築デザイン」の重要性を訴える中で、それを実現する工学的知識、技術の必要性を述べています。建築学科は、人間生活のための環境という価値、美という価値の探求と創造を目指す学科です。

建築には、良い質の環境をつくり、人々の活動をサポートし、居場所をつくるという役割があります。室内、建物、町、都市、地域…というそれぞれ特徴を持った環境は、境界部分も含めて互いに関係し合っています。その全体を意識してデザインする力を育てます。身近に、永く存在する建築は、人がどんな社会の仕組み、どんな価値観のもとに生きているかを語りかけるものです。建築行為は、その社会の仕組みに働きかけ、新たな価値を創造する行為です。建築を取り巻く社会、経済、文化に対して、感じ取り、問いかける力を引き出します。この問いかけたことを、建築として実体に変えていく力を鍛えます。目的や環境に適していることを目指すだけでなく、建築が価値の表象であること、その価値の中に美的価値があり、しばしば美が文化を動かす大きな力であることを自覚します。

本学科の教育の大きな特徴は、中心科目の「設計計画」において、建築意匠、計画、環境・設備、構造、ランドスケープなどの専門科目や総合科目で身につけた見方・知識・方法を集約、統合する建築デザインの指導にあります。美術大学の建築学科として、キャンパスの至るところで行われている制作活動から創造の刺激を受け、美術の基礎教育として絵画、彫刻、デザインを学びます。素材に触れて考えるという工房を使った課題や、地元の人たちと関わりながら設計・制作し、現地で発表するという課題を通して、実感を持って学ぶことも特徴です。

3年からは「スタジオ制」による指導が始まります。スタジオを開くそれぞれの教員は、様々なテーマを持って設計・制作・研究に臨んでいます。そのテーマを設計課題として学生に投げかけ、学生はその課題を通して、問いを立てること、新たな価値を模索することの意味を受け止めます。スタジオでより深く掘り下げて学びます。

＊建築学科には、一級建築士、二級建築士、および木造建築士の受験に必要な指定科目が設置されています。

総合型選抜の審査基準と受験生に期待すること

①審査基準

表現力テストでは以下の点を評価します。

- ・観察力(対象の特徴を精確に捉える。対象の重要な特徴を反映していない解答は、描写力に優れていても厳しい評価になるので注意してください)
- ・分析力(読み取った状況を総合化する)
- ・想像力(観察と分析をもとに優れた形と空間を構想する)
- ・描写力(構想したイメージを定着し伝える)
- ・時間管理能力(制限時間内で解答をまとめる)

自己推薦調書と面接では、本学志望理由・学びたいことの明確さに加え、表れる人物像とその個性・オリジナリティを評価します。

②受験生に期待すること

建築学科では、美術系、理科系、文科系科目のそれぞれを幅広く、統合する学びが求められます。総合型選抜では建築学科で学ぼうとする関心の高さ、情熱、資質を持った志願者を期待しています。例えば、モノづくりに興味を持っていること、観察力や発見力に優れ、想像力が豊かで深く考え、仲間をまとめ引っ張ることが得意であるなどの資質を求めます。建築学科で学ぶには、人の生活空間や地域に関心があり、それを良くしたい、そのデザインをしたいという強い思いが大切です。

出願時の注意事項

- ・必要書類についてはP04～05を熟読してください。
- ・提出作品自己作成証明書は不要です。
- ・各選考の詳細については、次ページを参照してください。

第1次選考**1. 選考方法****自己推薦調書審査**

自己推薦調書に基づき選考を行い、第2次選考対象者を決定します。

選考結果については、10月13日(火)11:00にweb出願システムのマイページ[<https://exam-entry.52school.com/musabi/mypage>]にて発表します。

2. 提出物**自己推薦調書**

本学所定の用紙に、以下のテーマに基づき記述してください。

出願書類と共に郵送してください。

建築学科自己推薦調書テーマ

①あなたが暮らしてきた住まいや環境について具体的に記述し、かつあなたの考え、評価を書いてください。(600字程度)

②あなたが建築を学びたいと思う動機や理由を書いてください。(600字程度)

*①、②すべてのテーマについて書いてください。

*用紙は本学所定の用紙「自己推薦調書」を使用してください。

*①については用紙のNo.1に、②についてはNo.2に書いてください。

*用紙にはすべて氏名を記入してください。

*BもしくはHBの鉛筆または黒のボールペンで記入してください。ワープロ等の使用は認めません。

**第2次選考****1. 選考方法****表現力テスト、グループ面接**

表現力テストは、当日与えられたテーマについて文章と図やスケッチで表現する試験です。

描写技術を重視するものではなく、テーマに対する理解・解釈、発想、図やスケッチと文章の組み合わせによる表現を総合的に評価します。

2. 選考日時

11月1日(日)	9:30~11:30	表現力テスト
	13:30~	グループ面接

3. 携行用具

鉛筆(B~4B)、シャープペンシル、消具、直定規

※バッテリー駆動、電力を使用する用具の使用は不可とします。

4. 面接の注意事項

面接日に作品を持参しても、選考には含めませんので、持参しないでください。

基礎デザイン学科の理念と教育課程の特色

「基礎デザイン学」とは、領域横断的な視点から、デザインを社会の変化に即して柔軟に捉え直し、各専門領域に通底する問題の水脈を掘り起こしていく、創造的な概念装置として構想されています。ここではデザインの意味を、その原点に立ち返って、「人」と「モノ」と「環境」の相互の関係性の問題として捉えています。メディアがデザインとアートを相互浸透させ、自然と人工の認識さえ問い直されようとしている今日、こうした問いかけの意味はますます大きくなっているといえます。4年間を通じて、理論と演習の両面からデザインの諸問題を確認しつつ、自ら発見したテーマの研究に多くの時間が費やされます。

本学科が目指すのは、デザインの企画・計画・研究・教育・評論など、幅広いフィールドで活躍する人材、すなわち、つねにデザインの新たな課題を発見し、それを社会的な活動を通して表現することのできる、新しい型の職業人を育成することです。

総合型選抜の審査基準と受験生に期待すること

①審査基準

●企画書

企画書では、課題に対して、調べ、考え、解決案として将来のデザインを提示することによって、みずみずしい構想力を示すことを期待します。

●面接

企画書の発表と質疑を行います。また、志望動機、将来の抱負、自分自身の特徴や能力をどのように捉えているか、ということについても尋ねます。

②受験生に期待すること

基礎デザイン学科は、人間がつくり出す「環境」や「製品」、「コミュニケーション」を広い視角から見直し、現在や未来における社会・世界の問題や幸福のかたちについて柔軟に思考できる人材、つまり、デザイン知を携えて、企画、デザイン、研究、教育、評論などの領域で活躍できる人材の育成を目指しています。総合型選抜では、上記の教育目標に基づいて、基礎デザイン学科の教育活動を推進するために、とりわけ、将来の社会や産業の中で、デザインを通して、あり得べき生活文化や生活環境を構想し得る人材を求めたいと考えます。より具体的には、現在という時代の認識に立って、将来の社会を構想できる人材。デザインによって将来の生活文化、生活環境の形成を構想できる人材、例えば「社会構想デザイナー」、「未来構想デザイナー」を目指す人材を募集します。

出願時の注意事項

- ・必要書類についてはP04～05を熟読してください。
- ・提出作品自己作成証明書は不要です。
- ・各選考の詳細については、次ページを参照してください。

第1次選考

1. 選考方法

プレゼンテーション企画書および自己推薦調書による審査

プレゼンテーション企画書および自己推薦調書を総合的に評価し、第2次選考対象者を決定します。

選考結果については、10月13日(火)11:00にweb出願システムのマイページ[<https://exam-entry.52school.com/musabi/mypage>]にて発表します。

2. 提出物

(1) プレゼンテーション企画書

以下のテーマに基づき、調べた事柄および提案を図・表(写真、画像、スケッチ等)や文章等を用いてまとめたもの。

第2次選考のプレゼンテーションおよび面接の際の発表資料となります。

出願書類と共に2つ折りにして郵送してください。

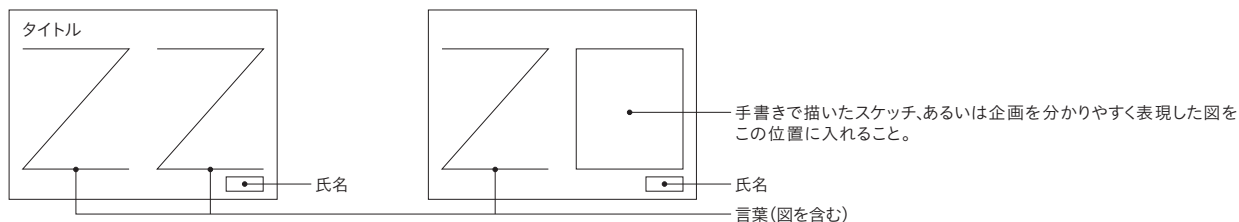
プレゼンテーション企画課題

「これまでにない新しい家具をひとつデザインしてください」

テクノロジーやエネルギーと繋がっていない、机、椅子、ベッド、ソファのようなものです。

それをできるだけわかりやすくスケッチや図解で表現し、その機能や役割、部屋のどこに置かなどを、詳細に説明してください。

- 企画に各自の提案にふさわしいテーマをつけなさい。
- A3サイズ横2枚にまとめること(下図を参照)。
- 用紙の種類は自由。ただし破損しやすいもの、記載内容が鮮明に見えないものは不可。
- 作成方法は手書きでも、コンピュータソフト等を使用してもよい。
- 図版と文章のレイアウトは自由。
- スケッチについては必ず本人の手描きで載せること。
- 作成に際して、他者の図版や文章を引用する場合は資料の出典を明記すること。
- 色彩の使用は自由(使用しなくても可)。
- 氏名を各用紙の右下隅に小さく書くこと。



(2) 自己推薦調書

本学所定の用紙に、以下のテーマに基づき記述してください。

出願書類と共に郵送してください。

基礎デザイン学科自己推薦調書テーマ

「基礎デザイン学科に期待すること」(600字程度)

あなたの将来の活動のために、あなたの能力特性に基づいて、基礎デザイン学科専門科目や教育カリキュラムによって、あなたが開発したいあなたの可能性について述べなさい。

*専門教育科目やカリキュラムについては、「大学案内」および大学ホームページより「Webシラバス」をご参照ください。

*用紙は本学所定の用紙「自己推薦調書」を使用してください。

*用紙のNo.1のみに記入し提出してください。用紙には氏名を記入してください。

*BもしくはHBの鉛筆または黒のボールペンで記入してください。ワープロ等の使用は認めません。

第2次選考

1. 選考方法

プレゼンテーション、面接

第1次選考の際に提出されたプレゼンテーション企画書を使用して5分以内で発表を行います。

その後、発表内容の質疑応答および第1次選考時に提出された自己推薦調書の内容を含む自己紹介や志望理由に関する面接を実施します。

*プレゼンテーション企画書は、第1次選考時に事前提出されたものをプロジェクターでスクリーンに投影します。

*試験会場に持ち込めるのは発表者用の手元原稿のみです。追加の資料、作品、ファイル、発表用の参考文献等の持ち込みは一切禁止します。

2. 選考日

11月1日(日)

*集合時間は本学webサイトに後日掲載します。

面接日に作品を持参しても、選考には含めませんので、持参しないでください。

芸術文化学科の理念と教育課程の特色

芸術文化学科は、社会を支える重要な要素である「芸術文化」を多角的に研究する学問領域として「芸術文化学」を掲げ、高い専門性を持った教員が、「芸術文化」を創造的に社会で活用することができる学生を育成しています。分野を横断する幅広い視点と、企画・実現力の獲得のため、プランニング(企画)、マネジメント(運営)、ミュゼオロジー(博物館学)を軸に、さまざまな理論と実技を学び、社会実践する教育課程を設置しています。

総合型選抜の審査基準と受験生に期待すること

①審査基準

●面接 ※日本語で実施

- ・芸術文化学科の理念や教育課程を調べていること
- ・志望に至った経緯と動機が明確にあること
- ・入学後の勉学と将来への目的意識があること

なお、これまでの経験で得たアートやデザインに対する考えがあれば積極的に話してください。高校時代のさまざまな活動も評価の対象とします。

②受験生に期待すること

- ・学科の理念と教育課程に興味を持っている
- ・既存の概念や社会の仕組みに潜む問題点を批判的に読み解こうとする
- ・芸術文化を活用し、社会を創造的に変革していきたいと考えている
- ・部活動や文化祭、生徒会などへの参加と、改善のための提案を行っている
- ・地域社会に目を向け、ボランティア活動を行っている
- ・自己と社会の間にテーマを設定し、自発的に研究を行っている

出願時の注意事項

- ・必要書類についてはP04～05を熟読してください。
- ・各選考の詳細については、次ページおよびQ & Aを参照してください。

第1次選考**1. 選考方法****自己推薦調書審査**

自己推薦調書に基づき選考を行い、第2次選考対象者を決定します。

選考結果については、10月13日(火)11:00にweb出願システムのマイページ[<https://exam-entry.52school.com/musabi/mypage>]にて発表します。

2. 提出物**自己推薦調書**

本学所定の用紙に、以下のテーマに基づき記述してください。

出願書類と共に郵送してください。

芸術文化学科自己推薦調書テーマ

①武蔵野美術大学芸術文化学科を志望する主な理由を述べてください。(800字以内)

②芸術文化学科で学ばべき人として、あなた自身を紹介、推薦してください。高校における各種の活動や、学外での社会活動など、特に伝えたい事項があれば、それも含めて記してください。(800字以内)

*①、②すべてのテーマについて書いてください。

*用紙は本学所定の用紙「自己推薦調書」を使用してください。

*①については用紙のNo.1に、②についてはNo.2に書いてください。

*用紙にはすべて氏名を記入してください。

*黒のボールペンもしくはペンで記入してください。ワープロ等の使用は認めません。

**第2次選考****1. 選考方法**

小論文、面接

2. 選考日時

10月31日(土) 9:30～11:30 小論文

13:00～ 面接*

11月1日(日) 9:30～ 面接*

※面接はどちらか1日で実施します。集合時間は本学webサイトに後日掲載します。

3. 携行用具

鉛筆またはシャープペンシル(黒に限る、BもしくはHB)、プラスチック消しゴム

※ペン、下敷きの使用は認めない。

※バッテリー駆動、電力を使用する用具の使用は不可とします。

4. 面接の注意事項

面接日に作品を持参しても、選考には含めませんので、持参しないでください。

デザイン情報学科の理念と教育課程の特色

デザイン情報学科では、時代を読み解く知識基盤や倫理観とともに、デザイン情報学の基礎となる課題設定、調査分析、構想立案を行う力を養い、「メディア表現」、「コミュニケーション創発」、「デジタル技術」の学問領域を統合させた「汎用技術としてのデザイン知」を自在に生かすことのできる人材の育成を教育目標としています。

デザイン情報学は、従来の“造形的なデザイン行為”と“気づきによる意味の生成”という二つの側面から「これからのデザイン」の実現を目指しています。デザインの本質は、新しい価値を創造し、それを社会全体で共有できるようにすることにあります。そこで、私たちの起点は、メディア、社会科学、技術の視座から社会の変化を観察し、多様な意味を読み解くことに置きます。そして新たな創造領域の構築に向け、これらの知見と高度な造形能力を統合し、既存の芸術やデザインという枠組みを超える表現＝提案の方法論を立ち上げたいと考えます。激変する時代に向かい合い、しっかりしたスタンスと軽いフットワークで変化を先導する。そのために、まだ名前さえ与えられていないまったく新しいデザイン分野を創造していく、そうした新しいデザイン世界の開拓と創造を担い得る人材を育成することが本学科の目標です。

総合型選抜の審査基準と受験生に期待すること

①審査基準

●ポートフォリオ

ポートフォリオでは、自分が制作した学校等の課題作品や、自主制作の作品を見て、表現力や独創性、社会への発信力などについて審査します。とくに自分が所属していた学校の内外で開催された公募コンペティションやコンクール等への参加実績は高く評価します。また、文化祭・体育祭や地域振興の活動等の各種イベントの企画、開催の取り組みも審査対象としますので、その際には概要と自分の役割を明記してください。

●表現力テスト

テスト実施の当日に出題する「描写力をみる問題」と「提案力をみる問題」のいずれかを選択し解答する方式で、それぞれに審査基準を設け評価します。

・「描写力をみる問題」は、配付モチーフを鉛筆デッサンする問題で、形状や質感の描写力や画面の構成力等を評価します。

・「提案力をみる問題」は、問題文から課題を設定し、その解決策を図解と文章で解答する問題で、発想力と説明能力を評価します。

●面接

デザイン情報学科に関心を持ち受験したいと考えた理由と、入学後の学修方針や目指す領域について、明確に表明できる人を評価します。また提出された出願書類やポートフォリオに関する質疑応答を通じて、コミュニケーション能力を評価します。

②受験生に期待すること

絵画、立体造形、イラスト、映像、ウェブサイト等の創作活動に積極的に取り組んだ経験を持ち、コミュニケーション手段として自分のイメージやアイデアを視覚的に表現できる人を募集します。高校までのさまざまな活動を通じて、優れた発信力を示した人に期待するのです。とくに、入賞や表彰などの成果を得たり、新しい取り組みを成功させたり、インターネット上で人気コンテンツと認められたりといった、客観的な実績を高く評価します。

出願時の注意事項

- ・必要書類についてはP04～05を熟読してください。
- ・提出作品自己作成証明書について
巻末にあるデザイン情報学科の記入例を必ず確認してください。記入する必要があるものは、
①出願期間内に郵送するポートフォリオ(P06「作品・ポートフォリオ提出」を参照)
についてです。
- ・各選考の詳細については、次ページおよびQ & Aを参照してください。

第1次選考**1. 選考方法****ポートフォリオ(作品資料ファイル)および自己推薦調書による審査**

ポートフォリオ(作品資料ファイル)および自己推薦調書を総合的に評価し、第2次選考対象者を決定します。

選考結果については、10月13日(火)11:00にweb出願システムのマイページ[<https://exam-entry.52school.com/musabi/mypage>]にて発表します。

2. 提出物**(1)ポートフォリオ(作品・活動実績等の資料ファイル)**

以下の要領に基づき作成してください。

- A4サイズのクリアファイル(10ポケット/20ページ)1冊に自身の作品や活動実績等の資料をまとめて収録してください。
- ポートフォリオ冒頭の1ページに略歴をまとめてください。内容は美術・デザインに限定する必要はありません。また、受賞歴等がある場合は併せて記載してください。
- ポートフォリオに収録する作品資料は、自身で制作したものであれば、内容は自由とします。学校や美術予備校等の課題で制作した作品資料でも、自主制作の作品資料でもかまいません。自分が見てもらいたい作品資料を収録してください。
- 作品資料には、作品名、サイズ、素材(画材)、制作時期を明記してください。オリジナルのものをポートフォリオに収録した場合、破損および紛失した際の責任は負いません。
- 作品資料は紙媒体のみとし、CD-R等のディスク類や、メモ리카ード等は含みません。
- ポートフォリオで完結させること。外部へのリンク等を含んでいても、評価の対象となりません。
- 共同制作等の資料については、制作の過程において志願者本人が担当した内容を明記してください。
- 展覧会、コンクール等に入選したことを証明する資料や、新聞、雑誌等に掲載された記事がある場合はポートフォリオに収録してもかまいません。収録する際は資料の出典、発行年月等を併記してください。
- 活動実績は、中学入学以降、自分が所属していた学校の内外で開催されたコンペティションやコンクール等への参加について、また各種のイベントを企画、開催した場合はその内容と自分の役割などを簡潔に記載してください。
- ポートフォリオには教員へのメッセージ、自作ではない作品資料、収録作品と関連がない資料等は収録しないでください。
- ファイルの表紙に必ず「作品用氏名ラベル」を貼付してください。

(2)自己推薦調書

本学所定の用紙に、以下のテーマに基づき記述してください。

出願書類と共に郵送してください。

デザイン情報学科自己推薦調書テーマ

自分がデザインに関心を持った理由と、デザイン情報学科で学ぶ自分の抱負をアピールしてください。(1,600字程度)

*用紙は本学所定の用紙「自己推薦調書」を使用してください。

*用紙のNo.1、2(2枚)に記入し提出してください。用紙にはすべて氏名を記入してください。

*BもしくはHBの鉛筆または黒のボールペンで記入してください。ワープロ等の使用は認めません。

**第2次選考****1. 選考方法****表現力テスト、面接**

表現力テストは、当日に出題する「描写力をみる問題」か「提案力をみる問題」か選択し解答する実技試験で、「描写力をみる問題」は解答用紙はB3サイズの画用紙を配付します。「提案力をみる問題」は指定の解答用紙を配付します。

面接は、第1次選考の際に提出されたポートフォリオ(作品・活動実績等の資料ファイル)の質疑も併せて実施します。

2. 選考日時

10月31日(土) 9:30~12:30 表現力テスト

11月1日(日) 9:30~ 面接

※集合時間は本学webサイトに後日掲載します。

3. 携行用具

「描写力をみる問題」:鉛筆、消具、カッターナイフ、フィキサチーフ(定着液)、その他鉛筆デッサン用具

「提案力をみる問題」:鉛筆またはシャープペンシル(BもしくはHB)、色鉛筆、消具、直定規、三角定規、コンパス

*カルトン、クリップは当日貸与するものを使用してください。

※特定の携行用具の使用可否については、お問い合わせいただいても回答はできません。

募集要項記載内容をご自身で判断し、試験当日持参した用具について試験官に注意を受けた場合は、その指示に従ってください。

※バッテリー駆動、電力を使用する用具の使用は不可とします。

4. 面接の注意事項

面接日に作品を持参しても、選考には含めませんので、持参しないでください。

☐ クリエイティブイノベーション学科の理念と教育課程の特色

クリエイティブイノベーション学科は、これまで美術大学が行ってきた美術家養成や個別技術に特化したデザイナー養成ではなく、創造的思考力を基盤として現実の社会問題の解決手段を構想し、望ましい社会の実現に寄与しうるクリエイティブな人材の育成を目指すものです。

この目的を実現するため、最初の2年間は、造形学部の学生とともに鷹の台キャンパスにおいて、造形教育と教養教育による創造的思考力の醸成を行い、3年次からは都心の市ヶ谷キャンパスにおいて、ビジネス・テクノロジー・ヒューマンバリューの3つの観点を軸に、実社会と緊密な連携をはかりながら、プロジェクト型授業を柱とした具体的な実践教育を行います。

造形教育を通して培った創造的思考力によって、新たな社会を構想し実現することが本学科の理念であり、そのための教育プログラムとして、造形教育と社会実装教育(アイデアの実社会での活用に取り組む活動)を結びつけるところに本学科の特色があります。

☐ 総合型選抜の審査基準と受験生に期待すること

①審査基準

●学修計画書

- 目的意識:なぜこの学科で学びたいか、その理由や動機が明確であるか
- 目標の明確性:将来的な目標や夢、目指す進路が具体的に示されているか
- 理解と適合性:本学科の趣旨・特色、およびカリキュラム構成等について理解し、本学科での学びが自身の目標達成にどう役立つかが具体的に示されているか
- 学習意欲と姿勢:学びへの意欲や積極的な姿勢が示されているか

●構想力テスト

構想力テストでは、与えられた身近な生活環境や社会現象を分析し、受験者自身が生活をしていく上で感じ、考えていることを起点に新しい視点や切り口(テーマ)を発見して、言葉や絵・図解などを用いてそれらの意味性や関係性を明らかにしながら、新しい構想を行うことが求められます。評価ポイントとして、絵や図解の上手さを見るのではなく、与えられた身近な生活環境や社会現象の分析力・構想のベースとなる「課題」からの視点や切り口の独創性、それらが説得性のある提案力につながっているかどうかを重視します。

●面接

本学科の教育に対しての意識を確認した上で、日常生活のなかでどのような関心を持っているのか、自身で見いだした課題に対して積極的に試行錯誤を行おうとしている志向性を評価します。

②受験生に期待すること

イノベーションという言葉は技術的な新しさだけでなく、いままでの社会の「あたりまえ」をよりよい方向に変えていく行為全般を指しています。

イノベーションは家庭や学校、日常の生活で様々な問題に直面したとき、意識的ではないにせよ、みなさんも実際に行ってきたものでもあるはずです。イノベーションのためには、現状の問題の本質をとらえ、その解決に向けて試行錯誤を繰り返し、そしてその成果を社会に問うていく能力が必要です。この総合型選抜では、こうした能力を生かして、現代社会の諸問題に積極的に取り組もうとする人材を求めます。

☐ 出願時の注意事項

- ・必要書類についてはP04～05を熟読してください。
- ・提出作品自己作成証明書は不要です。
- ・各選考の詳細については、次ページおよびQ & Aを参照してください。

第1次選考

1. 選考方法

学修計画書審査

学修計画書に基づき選考を行い、第2次選考対象者を決定します。

選考結果については、10月13日(火)11:00にweb出願システムのマイページ[<https://exam-entry.52school.com/musabi/mypage>]にて発表します。

2. 提出物

学修計画書

本学所定の用紙に、以下のテーマに基づき記述してください。

出願書類と共に郵送してください。

学修計画書テーマ

あなたの将来の目標とその理由、その為に大学4年間で学びたいことについて、1,600字以内で記述してください。その際、本学科では、グループワークや毎日3時間の制作の授業(特に1-2年次)があることから、これまでのグループワーク経験またはそれに対する意欲、そして、なんらかの制作に集中的に取り組んだ経験またはそれに対する意欲にも触れてください。

*用紙は本学所定の用紙「学修計画書」No.1、2を使用してください。用紙にはすべて氏名を記入してください。

*BもしくはHBの鉛筆または黒のボールペンで記入してください。ワープロ等の使用は認めません。



第2次選考

1. 選考方法

構想力テスト※、面接

※構想力テストは与えられた課題に対して、解決に導くための方法やアイデアをまとめます。課題に対しては個人で取り組みます。

2. 選考日時

10月31日(土) 10:00~12:00 構想力テスト

11月1日(日) 面接

※集合時間は本学webサイトに後日掲載します。

3. 携行用具

鉛筆またはシャープペンシル(黒に限る、BもしくはHB)、プラスチック消しゴム

※ペン、下敷きの使用は認めない。

※バッテリー駆動、電力を使用する用具の使用は不可とします。

4. 面接時の注意事項

面接時の作品や資料等の持ち込みは不可とします。

☐ クリエイティブイノベーション学科の理念と教育課程の特色

クリエイティブイノベーション学科は、これまで美術大学が行ってきた美術家養成や個別技術に特化したデザイナー養成ではなく、創造的思考力を基盤として現実の社会問題の解決手段を構想し、望ましい社会の実現に寄与しうるクリエイティブな人材の育成を目指すものです。

この目的を実現するため、最初の2年間は、造形学部の学生とともに鷹の台キャンパスにおいて、造形教育と教養教育による創造的思考力の醸成を行い、3年次からは都心の市ヶ谷キャンパスにおいて、ビジネス・テクノロジー・ヒューマンバリューの3つの観点を軸に、実社会と緊密な連携をはかりながら、プロジェクト型授業を柱とした具体的な実践教育を行います。

造形教育を通して培った創造的思考力によって、新たな社会を構想し実現することが本学科の理念であり、そのための教育プログラムとして、造形教育と社会実装教育(アイデアの実社会での活用に取り組む活動)を結びつけるところに本学科の特色があります。

☐ 総合型選抜の審査基準と受験生に期待すること

①審査基準

●学修計画書

- 目的意識:なぜこの学科で学びたいか、その理由や動機が明確であるか
- 目標の明確性:将来的な目標や夢、目指す進路が具体的に示されているか
- 理解と適合性:本学科の趣旨・特色、およびカリキュラム構成等について理解し、本学科での学びが自身の目標達成にどう役立つかが具体的に示されているか
- 学習意欲と姿勢:学びへの意欲や積極的な姿勢が示されているか

●自己推薦調書

探究活動の実績やその具体的な内容が明確に示されていること。

その実績を通じて、自身の創造的思考能力が十分に成熟していることがわかること。

●面接

本学科の教育に対する意識を確認した上で、高校の総合的な探究の時間に行った活動に関する質問を通じて、自身で見いだした課題に対して積極的に試行錯誤を行おうとしている志向性を評価します。

面接では3分程度で、自身の探究活動についてプレゼンテーションしていただきます。

A4用紙片面4ページ以内で資料を作成し、面接当日持参することができます(自身の手控え以外に5セットご用意ください)。

②受験生に期待すること

イノベーションという言葉は技術的な新しさだけではなく、いままでの社会の「あたりまえ」をよりよい方向に変えてゆく行為全般を指しています。

イノベーションは家庭や学校、日常生活で様々な問題に直面したとき、意識的ではないにせよ、みなさんも実際に行ってきたものでもあるはずです。イノベーションのためには、現状の問題の本質をとらえ、その解決に向けて試行錯誤を繰り返し、そしてその成果を社会に問うていく能力が必要です。この総合型選抜では、こうした能力を生かして、現代社会の諸問題に積極的に取り組もうとする人材を求めます。

☐ 出願時の注意事項

- ・必要書類についてはP04～05を熟読してください。
- ・提出作品自己作成証明書は不要です。
- ・各選考の詳細については、次ページおよびQ & Aを参照してください。

第1次選考**1. 選考方法****学修計画書および自己推薦調書審査**

学修計画書および自己推薦調書に基づき選考を行い、第2次選考対象者を決定します。

選考結果については、10月13日(火)11:00にweb出願システムのマイページ[<https://exam-entry.52school.com/musabi/mypage>]にて発表します。

2. 提出物**(1) 学修計画書**

本学所定の用紙に、以下のテーマに基づき記述してください。

出願書類と共に郵送してください。

学修計画書テーマ

あなたの将来の目標とその理由、その為に大学4年間で学びたいことについて、**1,600字以内**で記述してください。その際、本学科では、**グループワークや毎日3時間の制作の授業(特に1～2年次)**があることから、これまでのグループワーク経験またはそれに対する意欲、そして、**なんらかの制作に集中的に取り組んだ経験またはそれに対する意欲にも触れてください。**

※用紙は本学所定の用紙「学修計画書」No.1～4を使用してください。用紙にはすべて氏名を記入してください。

※BもしくはHBの鉛筆または黒のボールペンで記入してください。ワープロ等の使用は認めません。

(2) 自己推薦調書

以下のテーマに基づき記述してください。

出願書類と共に郵送してください。

自己推薦調書テーマ

①今までに行ってきた探究活動の概要を記述してください。(800字以内)

②これまでの探究活動を通して得たことを述べてください。(800字以内)

※①、②すべてのテーマについて書いてください。

※本学所定の「自己推薦調書」の用紙を使用してください。

※①については用紙のNo.1に、②については用紙のNo.2に記述してください。

※図表、グラフ、イラスト等の掲載はしないでください。

※①についてその活動が学校の授業その他で行われたものか、個人として行われたものかなどの情報とともに、個人で行ったものかグループで行ったものか(グループの場合は自分が果たした役割)もわかるように記載してください。

**第2次選考****1. 選考方法**

面接

2. 選考日時

10月31日(土)または、11月1日(日) 面接

※集合時間は本学webサイトに後日掲載します。

3. 当日持参物(任意)

プレゼンテーション資料。

自己推薦調書の内容を含んだ内容で資料を作成してください。

面接では、2分程度でご自身の探究的活動についてプレゼンテーションしていただきます。

A4用紙片面4ページ以内で資料を作成し、面接当日持参することができます。

※1部ごとに、右上をゼムクリップで留めて提出すること。

※ご自身の手控え以外に5セットご用意ください。

入試会場へのPC・タブレット等の持ち込みはできません。

4. 面接時の注意事項

当日持参物を除き、面接時の作品や資料等の持ち込みは不可とします。

映像学科の理念と教育課程の特色

映像学科は1990年の創設以来、時代に先駆けて「多面的」学習方法と「全方位的」教育理念を併せ、映像の「総合的教育」に取り組んできました。「専門的に学ぶこと」と「総合的に学ぶこと」は、一見矛盾しているようですが、本来の専門性は総合的に学ぶことからしか得られません。

さらに、2019年の造形学部から造形構想学部への改編をふまえ、総合的造形教育と社会に対する広範な知識の教授を基盤として、映像表現分野とテクノロジー分野の交錯する領域において創造的思考力を発揮する人材を育成したいと考えています。幅広い教養に通じ、歴史的背景を理解しながらも、変化する社会状況と技術・表現に適応し、新たな価値を産み出しうる映像表現者、文化創造の担い手となる人材の養成を教育目標としています。具体的な領域として、写真・映画・アニメーション・イメージコンピューティング・メディアアート・映像空間を基柱とし、未分化な新領域へも視野を広げて融合と拡張を目指します。

総合型選抜の審査基準と受験生に期待すること

①審査基準

●動画作品

作品に独自性、創造性、新鮮な眼差しが見られるか、技術的に粗削りであっても、独創性や強い表現情動が感じられるか、世界を映像で切り取る視点や技術的要素が卓越しているかについて評価します。

●写真作品

作品に独自性、創造性、新鮮な眼差しが見られるか、技術的に粗削りであっても、テーマの設定と被写体の捉え方に独自性や創造性があるかについて評価します。

②受験生に期待すること

クリエイション資質重視方式では、すでに志を持って映像や写真を使い表現を始めている人を求めています。また、映像表現・写真表現の置かれている今日的状況に強く関心を抱き、理論と表現活動を通じて現代的課題を探究する意欲のある人を求めています。この方式では、あなたの映像への熱意、制作への情熱、行動力に期待しています。

出願時の注意事項

- ・本方式に出願した方は、総合型選抜[後期]のディレクション資質重視方式、外国人留学生特別選抜、帰国生特別選抜への出願ができません。
- ・必要書類についてはP04～05を熟読してください。
- ・各選考の詳細については、次ページおよびQ & Aを参照してください。

第1次選考**1. 選考方法****ポートフォリオ(作品資料ファイル)および自己推薦調書審査**

ポートフォリオ(作品資料ファイル)および自己推薦調書を総合的に評価し、第2次選考対象者を決定します。

選考結果については、10月13日(火)11:00にweb出願システムのマイページ[<https://exam-entry.52school.com/musabi/mypage>]にて発表します。

2. 提出物**(1)ポートフォリオ(作品資料ファイル)**

大学webサイト(<https://www.musabi.ac.jp/admission/undergraduate/recommend/>)に掲載する、提出物アップロード用URLから「総合型選抜 提出フォーム」にアクセスし、9月17日(木)15:00までにデータのアップロードを完了させてください。

A: 写真作品の場合

「ポートフォリオ(作品資料ファイル)」PDFデータ(100MB以下)

B: 映像作品の場合

①「ポートフォリオ(作品資料ファイル)」PDFデータ(100MB以下)

②「映像作品」閲覧URL

- ・提出する動画データをYouTubeまたはVimeoにアップロードし、URLを「総合型選抜 提出フォーム」上から入力してください。パスワードはかけないでください。
- ・自ら制作したものに限りです。出演、道具、衣装等の関わりのみの場合は本人の作品とみなしません。
- ・提出できる動画は1本とします。規定時間15分に収まるよう編集してください。合計15分以内であれば作品数は問いません。
- ・作品内の使用楽曲については著作権の処理を済ませておいてください。
- ・日本語以外の場合は日本語字幕をつけてください。

「ポートフォリオ(作品資料ファイル)」について

- ・作品や関連する資料等をわかりやすくまとめたもの。
- ・出力時にA4サイズとなるようにPDFファイル(100MB以下)にまとめてください。
- ・日本語以外の場合は日本語解説を添えてください。
- ・写真作品はポートフォリオに含めてください。
- ・動画作品は各作品のキャプチャー画像／タイトル／上映時間／制作時期／制作スタッフ(役割&氏名)／使用ソフトウェア／制作の経緯など、作品解説のための情報を記載してください。絵コンテなど作品に関連する資料を添えても構いません。集団制作の場合は特に、自分の役割を明記してください。
- ・展覧会、コンクール等に入選したことを証明する資料や、新聞、雑誌等に掲載された記事がある場合は添付してもかまいません。その際は、資料の出典、発行年月等を記してください。
- ・ポートフォリオに教員へのメッセージ、自作ではない作品資料、収録作品と関連がない資料および情報等は収録しないでください。

問い合わせ: nyushi@musabi.ac.jp

提出期限: 9月17日(木)15:00必着

(2)自己推薦調書

本学所定の用紙に、以下のテーマに基づき記述してください。出願書類と共に郵送してください。

クリエイション資質重視方式自己推薦調書テーマ

あなたと「映像」との関わり、あるいは、あなたと「写真」との関わりを、家庭や学校生活のエピソードを交えて1,600字以内で書いてください。

※用紙は本学所定の用紙「自己推薦調書」No.1、2を使用してください。用紙にはすべて氏名を記入してください。

※BもしくはHBの鉛筆または黒のボールペンで記入してください。ワープロ等の使用は認められません。

第2次選考**1. 選考方法**

面接

2. 選考日

11月1日(日)

※集合時間は本学webサイトに後日掲載します。

3. 面接時の注意事項

面接時の作品や資料等の持ち込みは不可とします。

Q & A

出願について

Q1 複数の学科・専攻を併願できますか？
(すべての受験方式共通)

A 総合型選抜においては、出願は一つの学科・専攻・入試方式のみ可能です。

Q2 出身高等学校の廃校や、調査書の保存期間が終了して調査書が提出できない場合は、どうすればいいですか？(すべての受験方式共通)

A 調査書の代わりに卒業証明書および成績証明書を提出してください。

Q3 学校長の推薦書は必要ですか？
(すべての受験方式共通)

A 必要ありません。

Q4 調査書の学習成績の状況(評定平均値)はどのように扱われるのですか？(すべての受験方式共通)

A 調査書の学習成績の状況(評定平均値)が直接選考時に使用されることはありません。

事前相談(メール・オンライン面談)について

Q1 事前相談(メール・オンライン面談)を実施するのはどの学科ですか？

A 事前相談(メール)は彫刻学科、工芸工業デザイン学科、空間演出デザイン学科、建築学科、基礎デザイン学科、芸術文化学科、デザイン情報学科、クリエイティブイノベーション学科、映像学科で実施します。相談内容をメールで送っていただき、各学科より回答します。受付期間は8月31日(月)までです。事前相談(オンライン面談)は彫刻学科、工芸工業デザイン学科、建築学科、芸術文化学科で実施する予定です。また、いずれも希望者に対して実施するもので、必ず行わなければならないものではありません。詳細はP11をご覧ください。

Q2 事前相談・面談を実施している学科では、事前相談・面談をしたほうが合格の可能性が高いですか？

A 事前相談・面談は、学科に関する質問の受け付け、および学科の教育内容の紹介を目的としており、選考ではありません。よって、相談内容が選考に反映されることはありません。

油絵学科(油絵専攻/グラフィックアーツ専攻)について

Q1 作品は大きいほうが有利ですか？

A 作品の大きさによる有利・不利はありません。50号の大きさを目安として、作品の内容を第一に判断します。

空間演出デザイン学科について

Q1 第2次選考にある「構想力テスト」はどんなことをするのですか？

A 与えられたテーマについて自分の考えを当日指定された手段(図・スケッチ、文章、パフォーマンスなど)によって表現する試験です。

芸術文化学科について

Q1 実技の勉強(デッサンやデザイン等)をしたことがありませんが、出願できますか？

A 出願資格を満たしていれば、実技の勉強経験の有無にかかわらず出願できます。実技は入学後に基礎から学ぶことができるので、「実技の勉強はあまりしたことがないけれど、芸術文化学科にとっても関心がある」という人にもぜひ出願してほしいと考えています。

Q2 第2次選考にある「面接」はどんなことをするのですか？

A 第1次選考時に提出された自己推薦調書の内容を含む自己紹介や志望理由に関する面接を日本語で行います。

デザイン情報学科について

Q1 実技の勉強(デッサンやデザイン等)をしたことがありませんが、出願できますか？

A 出願資格を満たしていれば、実技の勉強経験の有無にかかわらず出願できます。
「これまでチャンスがなくて実技の勉強をしてこなかったけれど、デザイン情報学科にとっても関心がある」という人はぜひ出願してみてください。

Q2 第2次選考の「描写力をみる問題」「提案力をみる問題」はどのタイミングで選択をしますか？

A 表現力テストを実施する当日、試験開始時にどちらか一方のみを選択することになります。

クリエイティブイノベーション学科について

Q1 ポートフォリオは必要ありますか？また面接に持ち込むことは可能ですか？

A ポートフォリオは必要ありませんし、面接への持ち込みもできません。高校での活動・実績などは学修計画書に記載してください。

映像学科について

Q1 実技の勉強(デッサンやデザイン等)をしたことがありませんが、出願できますか？

A 出願資格を満たしていれば、実技の勉強経験の有無にかかわらず出願できます。
「実技の経験はないが、映像学科にとっても関心がある」という人にもぜひ出願してほしいと考えています。

その他

Q1 もし、総合型選抜[前期]で不合格になった場合、総合型選抜[後期]、一般選抜で再度同じ学科を受験することはできますか？

A 一部方式を除き受験できます。その際、総合型選抜の選考結果は他の試験には一切反映されません。
なお、映像学科(クリエイション資質重視方式)と総合型選抜[後期]同学科(ディレクション資質重視方式)の併願はできません。

Q2 保護者控室はありますか？

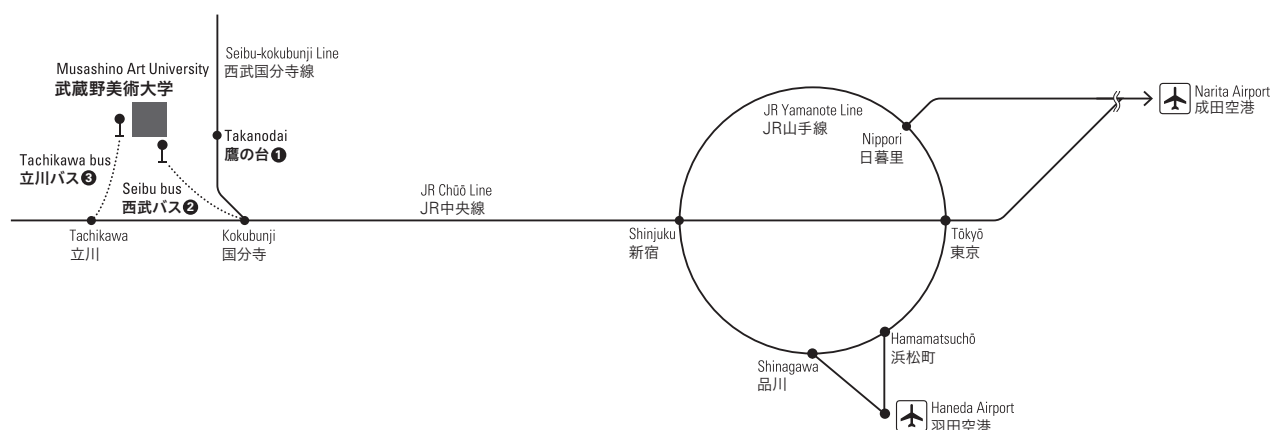
A 保護者等付き添いの方の控室はありません。
作品搬入の補助などでの入構はできますが、終了次第速やかに退構してください。

Q3 駐車場はありますか？

A 大学では駐車場を用意しておりません。公共交通機関を利用してください。
自家用車等での送迎は、路上駐停車により近隣にお住まいの方の迷惑となりますので、ご遠慮ください。

本学へのアクセス

路線図



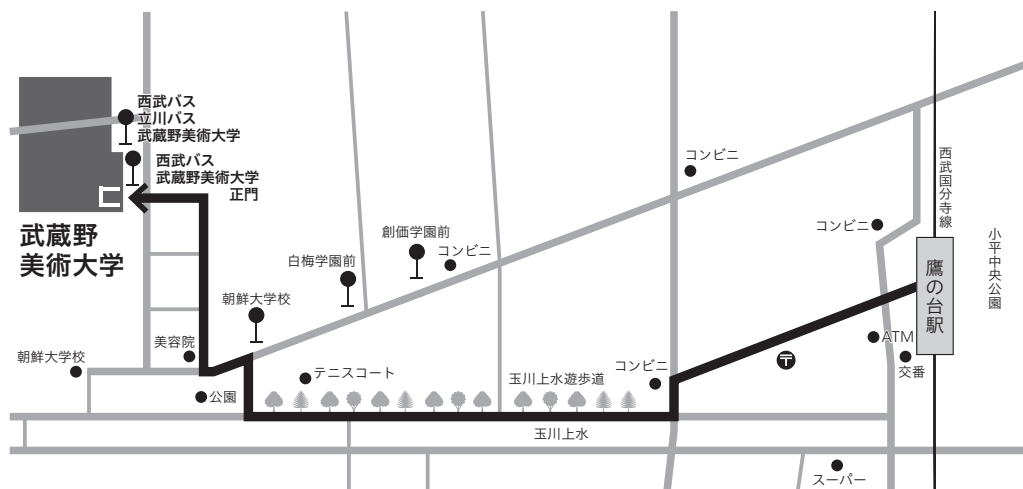
最寄り駅からのアクセス(鷹の台キャンパス)

① 西武国分寺線「鷹の台」

駅下車徒歩18分

入学試験で来校の場合、バスは道路事情等により遅れることがあるので、この経路を利用することをおすすめします。

- ◎ JR中央線から「国分寺」駅乗換、「東村山」行(2駅目)
- ◎ 西武新宿線から「東村山」駅乗換、「国分寺」行(2駅目)



② 西武バス「武蔵野美術大学正門」

停留所下車すぐ

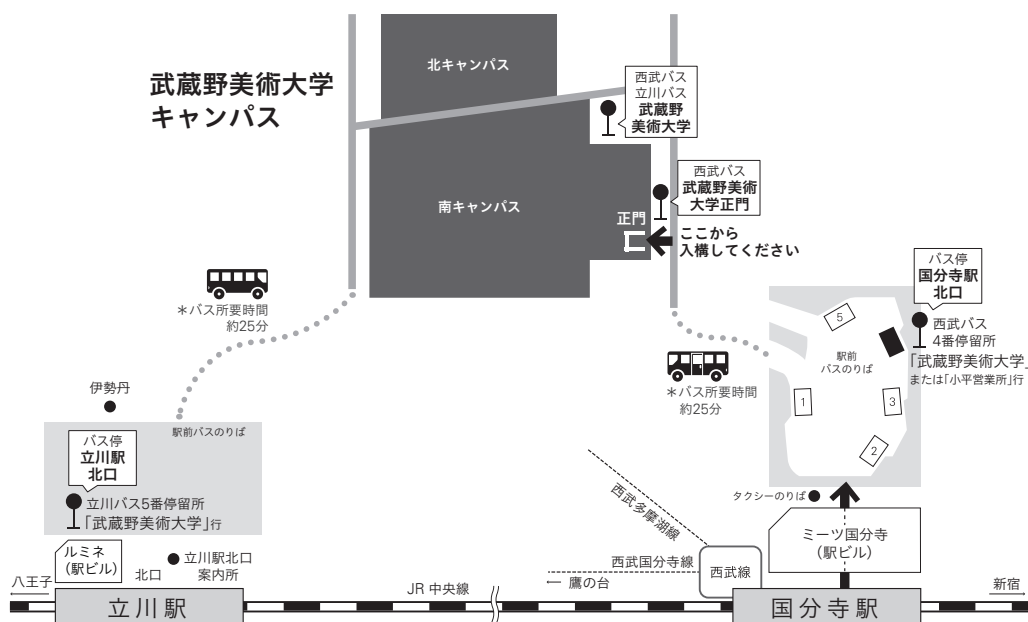
- ◎ JR中央線「国分寺」駅北口下車「国分寺駅北口」4番停留所より「武蔵野美術大学」行
- または「小平営業所」行に乗り換(バス所要時間:約25分)

※ 試験日によっては、別の乗り場から臨時便が出る場合があります。乗り場近くの誘導員などの案内に従ってください。

③ 立川バス「武蔵野美術大学」

停留所下車すぐ

- ◎ JR中央線「立川」駅北口下車「立川駅北口」5番停留所より「武蔵野美術大学」行に乗り換(バス所要時間:約25分)



誓 約 書

武蔵野美術大学

学長 樺山 祐和 殿

2027 年度 武蔵野美術大学総合型選抜、学科
(専攻)へ出願するにあたって、この志望学科・専攻を専願すること
を確約します。

また試験に合格し、手続を経て入学許可を得た後も専願であることを遵守いたします。

年 月 日

本人住所

フリガナ

氏名

印

出身校名

保護者氏名

印

志望学科・専攻

受験番号 *無記入のまま提出してください

自己推薦調書

フリガナ
氏名

タイトル

No.1

横書き

200

400

600

800

BもしくはHBの鉛筆もしくは黒のボールペンで記入してください。ワープロ等の使用は認めません。

志望学科・専攻

受験番号 *無記入のまま提出してください

自己推薦調書

フリガナ
氏名

タイトル

No.2

横書き

200

400

600

800

BもしくはHBの鉛筆もしくは黒のボールペンで記入してください。ワープロ等の使用は認めません。

作品用氏名ラベル

※受験番号

※作品提出が受験票公開前の場合は、受験番号は未記入のまま作品に貼付してください。

下記項目を記入のうえ、提出作品等 1 つにつき 1 枚ずつ貼付してください。

武蔵野美術大学

志願する学科・専攻・コース等			
フリガナ 氏 名		作品提出日	
印		2026年	月 日
番号	作品種類	仕様・媒体など	制作年月
			年 月

番号、作品種類、仕様・媒体など、制作年月は出願時に提出した提出作品自己作成証明書と一致させてください。

作品用氏名ラベル

※受験番号

※作品提出が受験票公開前の場合は、受験番号は未記入のまま作品に貼付してください。

下記項目を記入のうえ、提出作品等 1 つにつき 1 枚ずつ貼付してください。

武蔵野美術大学

志願する学科・専攻・コース等			
フリガナ 氏 名		作品提出日	
印		2026年	月 日
番号	作品種類	仕様・媒体など	制作年月
			年 月

番号、作品種類、仕様・媒体など、制作年月は出願時に提出した提出作品自己作成証明書と一致させてください。

作品用氏名ラベル

※受験番号

※作品提出が受験票公開前の場合は、受験番号は未記入のまま作品に貼付してください。

下記項目を記入のうえ、提出作品等 1 つにつき 1 枚ずつ貼付してください。

武蔵野美術大学

志願する学科・専攻・コース等			
フリガナ 氏 名		作品提出日	
印		2026年	月 日
番号	作品種類	仕様・媒体など	制作年月
			年 月

番号、作品種類、仕様・媒体など、制作年月は出願時に提出した提出作品自己作成証明書と一致させてください。

がい こく じん りゅう がく せいにゅう がく し がん しゃ ちようしよ

外国人留学生入学志願者調書

し ほう がっ か せん こう 志望学科・専攻				がっ か 学科		せん こう 専攻			
し めい 氏名 (漢字またはカタカナ)		(ローマ字) First		Middle		Last (Family)		せいべつ 性別 おとこ 男 おんな 女	
せいねん がっ び 生年月日				ねん 年	がっ 月	にちうまれ 日生 (		さい 歳)	こく せき 国籍

がく れき しょう がっ こう にゅう がく さいしゅう がっ こう そつぎょう ねんだいじゆん くわ き にゅう
学歴 ※小学校入学から最終学校卒業まで年代順に詳しく記入のこと。

がっ こう めい しょう ざい くに と し めい 学校名 (所在する国・都市名)		ざい がく しょうきょう 在学状況				ざい がく き かん 在学期間		
(	しょう がっ こう 小学校	ねん 年	がっ 月	にゅう がく 入学		ねん 年	か げつ 力月	
	)	ねん 年	がっ 月	そつぎょう 卒業	てんしゅつ ・ 転出			
(	がっ こう 学校	ねん 年	がっ 月	にゅう がく 入学	てんにゅう ・ 転入	ねん 年	か げつ 力月	
	)	ねん 年	がっ 月	そつぎょう 卒業	てんしゅつ ・ 転出			
(	がっ こう 学校	ねん 年	がっ 月	にゅう がく 入学	てんにゅう ・ 転入	ねん 年	か げつ 力月	
	)	ねん 年	がっ 月	そつぎょう 卒業	てんしゅつ ・ 転出	そつぎょう み こみ ・ 卒業見込		
(	がっ こう 学校	ねん 年	がっ 月	にゅう がく 入学	てんにゅう ・ 転入	ねん 年	か げつ 力月	
	)	ねん 年	がっ 月	そつぎょう 卒業	てんしゅつ ・ 転出	そつぎょう み こみ ・ 卒業見込		
(	がっ こう 学校	ねん 年	がっ 月	にゅう がく 入学	てんにゅう ・ 転入	ねん 年	か げつ 力月	
	)	ねん 年	がっ 月	そつぎょう 卒業	てんしゅつ ・ 転出	そつぎょう み こみ ・ 卒業見込		
(	がっ こう 学校	ねん 年	がっ 月	にゅう がく 入学	てんにゅう ・ 転入	ねん 年	か げつ 力月	
	)	ねん 年	がっ 月	そつぎょう 卒業	そつぎょう み こみ ・ 卒業見込			
		つう さん ざい がく き かん 通算在学期間				ごう けい 合計	ねん 年	か げつ 力月
しよく れき 職歴	しよく ば めい 職場名	しょう ざい ち 所在地				きん む き かん 勤務期間		

がいこくじん りゅうがくせい にゅうがく し がんしゃ ちょうしよ

外国人留学生入学志願者調書

しほうかつか せんこう 志望学科・専攻	フリガナ しめい 氏名
かつか 学科	せんこう 専攻
にゅうがく こ がくしゅうけい かく けんきゅうけい かく にほんご ぐわ か 入学後の学習計画または研究計画(日本語で詳しく書きなさい)	
ほん がく そつぎょう ご けい かく にほんご ぐわ か 本学卒業後の計画(日本語で詳しく書きなさい)	

受験番号 *無記入のまま提出してください

フリガナ
氏名

横書き

400

600

800

学修計画書										受験番号 *無記入のまま提出してください											
志望学科 クリエイティブイノベーション学科										フリガナ 氏名											
No.2																				横書き	
																				200	
																				400	
																				600	
																				800	

2027年度 武蔵野美術大学入学試験
提出作品自己作成証明書

※第2次選考に進んだ際に提出する作品についても記入が必要です。
出願の段階で提出予定の作品は決定しておいてください。

武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

2027年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。

なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ	A 4 サイズのファイル 1 冊	2026.9
2	デッサン	B 4 サイズの画用紙	2025.12
3	日本画	3 0 号	2026.2
4	日本画	1 5 号	2026.3

作品種類ごとに番号を振ってください。

作品番号および作品種類は作品に貼付する作品用氏名ラベルと一致させてください。

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文を添付すること。

※第1次選考の「自己推薦調書」については記入不要です。

以上 4 点

2026 年 9 月 12 日

志望学科・専攻・コース 日本画学科

フリガナ
誓約者氏名(自署)

ムサシ ノ ミ コ
武蔵野 美子

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。
なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

2026 年 9 月 12 日

所属(職位) ○ ○ 高 校 教 員

日本語学校等に通っている者は日本語学校等の教員の証明可とします。

氏名(自署) 山 田 太 郎



誓約者との間柄 指導教員

必ず捺印してください。

連絡先(電話番号) XXX-XXXX-XXXX

(e-mail) xxxxxxxxxxx@xxxx.xx.xx

※証明内容について問い合わせることがあります。

2027年度 武蔵野美術大学入学試験
提出作品自己作成証明書

※第2次選考に進んだ際に提出する作品についても記入が必要です。
出願の段階で提出予定の作品は決定しておいてください。

武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

2027年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。

なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ	A4サイズのファイル1冊	
2			
3			
4			

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文を添付すること。

※第1次選考の「自己推薦調書」については記入不要です。

以上 点

年 月 日

志望学科・専攻・コース

フリガナ
誓約者氏名(自署)

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。
なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

年 月 日

所属(職位)

氏名(自署) 印

誓約者との間柄

連絡先(電話番号)

(e-mail)

※証明内容について問い合わせることがあります。

2027年度 武蔵野美術大学入学試験
提出作品自己作成証明書

※第2次選考に進んだ際に提出する作品についても記入が必要です。
出願の段階で提出予定の作品は決定しておいてください。

武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

2027年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。

なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

サイズは詳細に記入してください。
制作中の作品を提出予定の場合は、サイズに余裕をもって記入してください。
平面作品は縦横サイズ、立体作品は縦・横・奥行を記入してください。
組作品の場合は全体のサイズを記入してください。
付属品がある場合、それらを含めたサイズを記入してください。

作品種類ごとに番号を振ってください。

作品番号および作品種類は作品に貼付する作品用氏名ラベルと一致させてください。

番号	作品種類	サイズ	素材、備考 (仕様や特記事項など)	制作年月
1	ポートフォリオ	A4サイズのファイル1冊		2026.9
2	平面・立体・その他	縦 横 奥行 91 cm / 146 cm / - cm	油絵 F30号2枚の組作品	2025.12
3	平面・立体・その他	縦 横 奥行 50 cm / 60 cm / 40 cm	木材	2026.2
4	平面・立体・その他	映像作品の場合はサイズを記入しない。 cm / cm / cm	映像 3分20秒の映像作品	2026.3

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文を添付すること。

※第1次選考の「自己推薦調書」については記入不要です。

平面作品：イーゼル等に立てかけて審査が可能なもの（デッサン等紙作品でカルトンが必要な場合はその旨を備考欄に記載）

立体作品：自立または壁面等に立てかけての審査が可能なもの（自立するための付属品等も含まれます）

手に取れるもの（書籍形式の作品等）は詳細や希望を備考欄に記入

その他：インスタレーション作品、パフォーマンス作品、映像作品等→記録

写真または映像として提出

以上 4 点

募集要項を確認の上、提出すること

2026 年 9 月 12 日

志望学科・専攻・コース 油絵学科油絵専攻

フリガナ
誓約者氏名(自署)

ムサシ ノ ミ コ
武蔵野 美子

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。

なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

2026 年 9 月 12 日

所属(職位) ○ ○ 高 校 教 員

日本語学校等に通っている者は日本語学校等の教員の証明可とします。

氏名(自署) 山 田 太 郎

印

誓約者との間柄 指導教員

必ず捺印してください。

連絡先(電話番号) XXX-XXXX-XXXX

(e-mail) xxxxxxxxxxx@xxxx.xx.xx

※証明内容について問い合わせることがあります。

2027年度 武蔵野美術大学入学試験
提出作品自己作成証明書

※第2次選考に進んだ際に提出する作品についても記入が必要です。
出願の段階で提出予定の作品は決定しておいてください。

武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

＜自己作成証明＞

2027 年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。
なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	サイズ	素材、備考 (仕様や特記事項など)	制作年月
1	ポートフォリオ	A4サイズのファイル1冊		
2	平面・立体・その他	縦 横 奥行 cm/ cm/ cm		
3	平面・立体・その他	縦 横 奥行 cm/ cm/ cm		
4	平面・立体・その他	縦 横 奥行 cm/ cm/ cm		

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文を添付すること。
※第1次選考の「自己推薦調書」については記入不要です。
平面作品：イーゼル等に立てかけて審査が可能なもの（デッサン等紙作品でカルトンが必要な場合はその旨を備考欄に記載）
立体作品：自立または壁面等に立てかけての審査が可能なもの（自立するための付属品等も含まれます）
手に取れるもの（書籍形式の作品等）は詳細や希望を備考欄に記入
その 他：インスタレーション作品、パフォーマンス作品、映像作品等→記録
写真または映像として提出
募集要項を確認の上、提出すること

以上 点

年 月 日

志望学科・専攻・コース

フリガナ
誓約者氏名(自署)

＜作成証明＞

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。
なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

年 月 日

所属(職位)

氏名(自署) 印

誓約者との間柄

連絡先(電話番号)

(e-mail)

※証明内容について問い合わせることがあります。

2027年度 武蔵野美術大学入学試験
提出作品自己作成証明書

※第2次選考に進んだ際に提出する作品についても記入が必要です。
出願の段階で提出予定の作品は決定しておいてください。

武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

＜自己作成証明＞

2027年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないこと
なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

サイズは詳細に記入してください。平面作品は号数または縦横サイズを記入。立体作品は縦・横・高さを記入。インスタレーションは設置に必要なスペースを詳細に記入するとともに、参考として全体図がわかる画像を添付すること。組作品の場合も全体のサイズを詳細に記入してください。

作品種類ごとに番号を振ってください。

作品番号および作品種類は作品に貼付する作品用氏名ラベルと一致させてください。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ	A 4サイズのファイル1冊	2026.9
2	油絵①	F 5 0 号	2025.12
3	油絵②	F 3 0 号	2026.2
4	デッサン	500 × 650mm の画用紙	2026.3

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文を添付すること。
※第1次選考の「自己推薦調書」については記入不要です。

以上 4 点

2026 年 9 月 12 日

志望学科・専攻・コース 油絵学科グラフィックアーツ専攻

フリガナ
誓約者氏名(自署)

ムサシ ノ ミ コ
武蔵野 美子

＜作成証明＞

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。
なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

2026 年 9 月 12 日

所属(職位) ○ ○ 高 校 教 員

日本語学校等に通っている者は日本語学校等の教員の証明可とします。

氏名(自署) 山 田 太 郎

印

誓約者との間柄 指導教員

必ず捺印してください。

連絡先(電話番号) XXX-XXXX-XXXX

(e-mail) xxxxxxxxxxx@xxxx.xx.xx

※証明内容について問い合わせることがあります。

2027年度 武蔵野美術大学入学試験
提出作品自己作成証明書

※第2次選考に進んだ際に提出する作品についても記入が必要です。
出願の段階で提出予定の作品は決定しておいてください。

武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

＜自己作成証明＞

2027 年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。
なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ	A 4 サイズのファイル 1 冊	
2			
3			
4			

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文を添付すること。
※第1次選考の「自己推薦調書」については記入不要です。

以上 点

年 月 日

志望学科・専攻・コース

フリガナ
誓約者氏名(自署)

＜作成証明＞

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。
なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

年 月 日

所属(職位)

氏名(自署) 印

誓約者との間柄

連絡先(電話番号)

(e-mail)

※証明内容について問い合わせることがあります。

2027年度 武蔵野美術大学入学試験
提出作品自己作成証明書

※第2次選考に進んだ際に提出する作品についても記入が必要です。
出願の段階で提出予定の作品は決定しておいてください。

武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

2027年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。

なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ	A4サイズのファイル1冊	2026.9
2	課題制作	幅 60cm×奥行 20cm×高さ 50cm 木彫	2026.3
3	デッサン	B3サイズの画用紙	2026.2

作品種類ごとに番号を振ってください。

作品番号および作品種類は作品に貼付する作品用氏名ラベルと一致させてください。

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文を添付すること。

※第1次選考の「自己推薦調書」については記入不要です。

作品種類を上記に書ききれない場合は、複数枚使用し、合計の点数を記入の上、クリップ留めをして提出してください。

以上 3 点

2026 年 9 月 12 日

志望学科・専攻・コース 彫刻学科

フリガナ
誓約者氏名(自署)

ムサシ ノ ミ コ
武蔵野 美子

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。
なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

2026 年 9 月 12 日

所属(職位) ○ ○ 高校 教員

日本語学校等に通っている者は日本語学校等の教員の証明可とします。

氏名(自署) 山田 太郎

印

誓約者との間柄 指導教員

必ず捺印してください。

連絡先(電話番号) XXX-XXXX-XXXX

(e-mail) xxxxxxxxxx@xxxx.xx.xx

※証明内容について問い合わせることがあります。

2027年度 武蔵野美術大学入学試験
提出作品自己作成証明書

※第2次選考に進んだ際に提出する作品についても記入が必要です。
出願の段階で提出予定の作品は決定しておいてください。

武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

＜自己作成証明＞

2027年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。
なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ	A4サイズのファイル1冊	
2	課題制作		

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文を添付すること。
※第1次選考の「自己推薦調書」については記入不要です。

以上 点

年 月 日

志望学科・専攻・コース

フリガナ
誓約者氏名(自署)

＜作成証明＞

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。
なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

年 月 日

所属(職位)

氏名(自署) 印

誓約者との間柄

連絡先(電話番号)

(e-mail)

※証明内容について問い合わせることがあります。

2027年度 武蔵野美術大学入学試験
提出作品自己作成証明書

※第2次選考に進んだ際に提出する作品についても記入が必要です。
出願の段階で提出予定の作品は決定しておいてください。

武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

＜自己作成証明＞

2027年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。
なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ	A 4サイズのファイル1冊	2026.9
2	立体作品	模型、幅 30cm×奥行 45cm×高さ 10cm	2025.12
3	立体作品	椅子、幅 20cm×奥行 30cm×高さ 50cm	2025.1
4	立体作品	茶わん、口径 12cm×高さ 7cm	2024.4

作品種類ごとに番号を振ってください。

作品番号および作品種類は作品に貼付する作品用氏名ラベルと一致させてください。

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文を添付すること。
※第1次選考の「自己推薦調書」については記入不要です。

以上 4 点

2026 年 9 月 12 日

志望学科・専攻・コース 工芸工業デザイン学科

フリガナ ムサシ ノ ミ コ
誓約者氏名(自署) 武蔵野 美子

＜作成証明＞

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。
なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

2026 年 9 月 12 日

所属(職位) ○ ○ 高 校 教 員

日本語学校等に通っている者は日本語学校等の教員の証明可とします。

氏名(自署) 山 田 太 郎 印

誓約者との間柄 指導教員

必ず捺印してください。

連絡先(電話番号) XXX-XXXX-XXXX

(e-mail) xxxxxxxxxxx@xxxx.xx.xx

※証明内容について問い合わせることがあります。

2027年度 武蔵野美術大学入学試験
提出作品自己作成証明書

※第2次選考に進んだ際に提出する作品についても記入が必要です。
出願の段階で提出予定の作品は決定しておいてください。

武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

＜自己作成証明＞

2027年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。
なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ	____ サイズのファイル1冊	
2			
3			
4			

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文を添付すること。
※第1次選考の「自己推薦調書」については記入不要です。

以上 点

年 月 日

志望学科・専攻・コース

フリガナ
誓約者氏名(自署)

＜作成証明＞

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。
なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

年 月 日

所属(職位)

氏名(自署) 印

誓約者との間柄

連絡先(電話番号)

(e-mail)

※証明内容について問い合わせることがあります。

2027年度 武蔵野美術大学入学試験
提出作品自己作成証明書

※第2次選考に進んだ際に提出する作品についても記入が必要です。
出願の段階で提出予定の作品は決定しておいてください。

武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

2027年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。

なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ	A4サイズのファイル1冊	2025.12
2	立体作品	自作の服、トルソーに着せたもの	2025.12

作品種類ごとに番号を振ってください。

作品番号および作品種類は作品に貼付する作品用氏名ラベルと一致させてください。

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文を添付すること。

※第1次選考の「自己推薦調書」については記入不要です。

以上 2 点

自己推薦調書（1）作品については記入不要です。第2次選考に進んだ際に提出する予定のポートフォリオと作品について記入してください。

2026 年 9 月 12 日

志望学科・専攻・コース 空間演出デザイン学科

フリガナ
誓約者氏名(自署)

ムサシ ノ ミ コ
武蔵野 美子

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。
なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

2026 年 9 月 12 日

所属(職位) ○ ○ 高 校 教 員

日本語学校等に通っている者は日本語学校等の教員の証明可とします。

氏名(自署) 山 田 太 郎

印

誓約者との間柄 指導教員

必ず捺印してください。

連絡先(電話番号) XXX-XXXX-XXXX

(e-mail) xxxxxxxxxxx@xxxx.xx.xx

※証明内容について問い合わせることがあります。

2027年度 武蔵野美術大学入学試験
提出作品自己作成証明書

※第2次選考に進んだ際に提出する作品についても記入が必要です。
出願の段階で提出予定の作品は決定しておいてください。

武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

＜自己作成証明＞

2027 年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。
なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ	_____ サイズのファイル1冊	
2			

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文を添付すること。
※第1次選考の「自己推薦調書」については記入不要です。

以上 _____ 点

年 _____ 月 _____ 日

志望学科・専攻・コース _____

フリガナ
誓約者氏名(自署) _____

＜作成証明＞

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。
なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

年 _____ 月 _____ 日

所属(職位) _____

氏名(自署) _____ 印

誓約者との間柄 _____

連絡先(電話番号) _____

(e-mail) _____

※証明内容について問い合わせることがあります。

2027年度 武蔵野美術大学入学試験
提出作品自己作成証明書武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

2027年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。

なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ	A4サイズのファイル1冊	2026.9

作品種類ごとに番号を振ってください。

作品番号および作品種類は作品に貼付する作品用氏名ラベルと一致させてください。

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文を添付すること。

※第1次選考の「自己推薦調書」については記入不要です。

以上 1 点

2026 年 9 月 12 日

志望学科・専攻・コース デザイン情報学科

フリガナ
誓約者氏名(自署)ムサシ ノ ミ コ
武蔵野 美子

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。
なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

2026 年 9 月 12 日

所属(職位) ○○ 高校 教員

日本語学校等に通っている者は日本語学校等の教員の証明可とします。

氏名(自署) 山田 太郎

印

誓約者との間柄 指導教員

必ず捺印してください。

連絡先(電話番号) XXX-XXXX-XXXX

(e-mail) xxxxxxxxx@xxxx.xx.xx

※証明内容について問い合わせることがあります。

2027年度 武蔵野美術大学入学試験
提出作品自己作成証明書武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

2027年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。

なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ	A4サイズのファイル1冊	

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文を添付すること。

※第1次選考の「自己推薦調書」については記入不要です。

以上 点

年 月 日

志望学科・専攻・コース

フリガナ
誓約者氏名(自署)

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。
なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

年 月 日

所属(職位)

氏名(自署) 印

誓約者との間柄

連絡先(電話番号)

(e-mail)

※証明内容について問い合わせることがあります。

2027年度 武蔵野美術大学入学試験
提出作品自己作成証明書武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

2027年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。

なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ (作品・資料ファイル)	PDF (100MB)	2026.9
2	動画データ	投稿先: YouTube 作品時間: 約 10 分 動画作品の場合、投稿先と作品時間を 記載してください。	2026.9

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文を添付すること。

※第1次選考の「自己推薦調書」については記入不要です。

以上 2 点

写真作品（または動画以外）の場合は、
記入不要。

2026 年 9 月 12 日

志望学科・専攻・コース 映像学科

フリガナ
誓約者氏名(自署)ムサシ ノ ミ コ
武蔵野 美子

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。
なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

2026 年 9 月 12 日

所属(職位) ○ ○ 高校 教員

日本語学校等に通っている者は
日本語学校等の教員の証明可と
します。

氏名(自署) 山田 太郎 印

誓約者との間柄 指導教員

必ず捺印してください。

連絡先(電話番号) XXX-XXXX-XXXX

(e-mail) xxxxxxxxxxx@xxxx.xx.xx

※証明内容について問い合わせることがあります。

2027年度 武蔵野美術大学入学試験
提出作品自己作成証明書武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

2027年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。

なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文を添付すること。

※第1次選考の「自己推薦調書」については記入不要です。

以上 点

年 月 日

志望学科・専攻・コース

フリガナ
誓約者氏名(自署)

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。
なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

年 月 日

所属(職位)

氏名(自署) 印

誓約者との間柄

連絡先(電話番号)

(e-mail)

※証明内容について問い合わせることがあります。